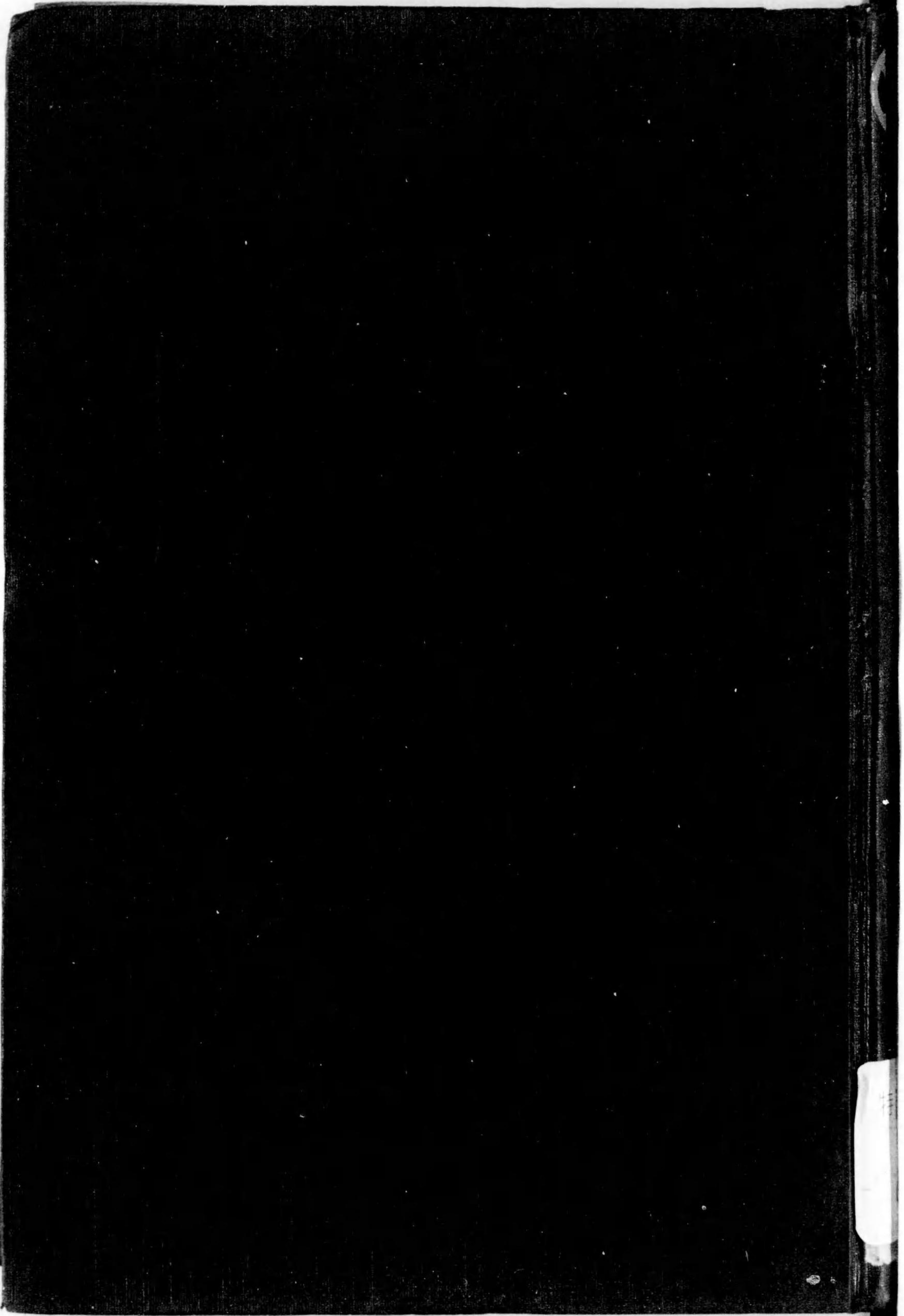


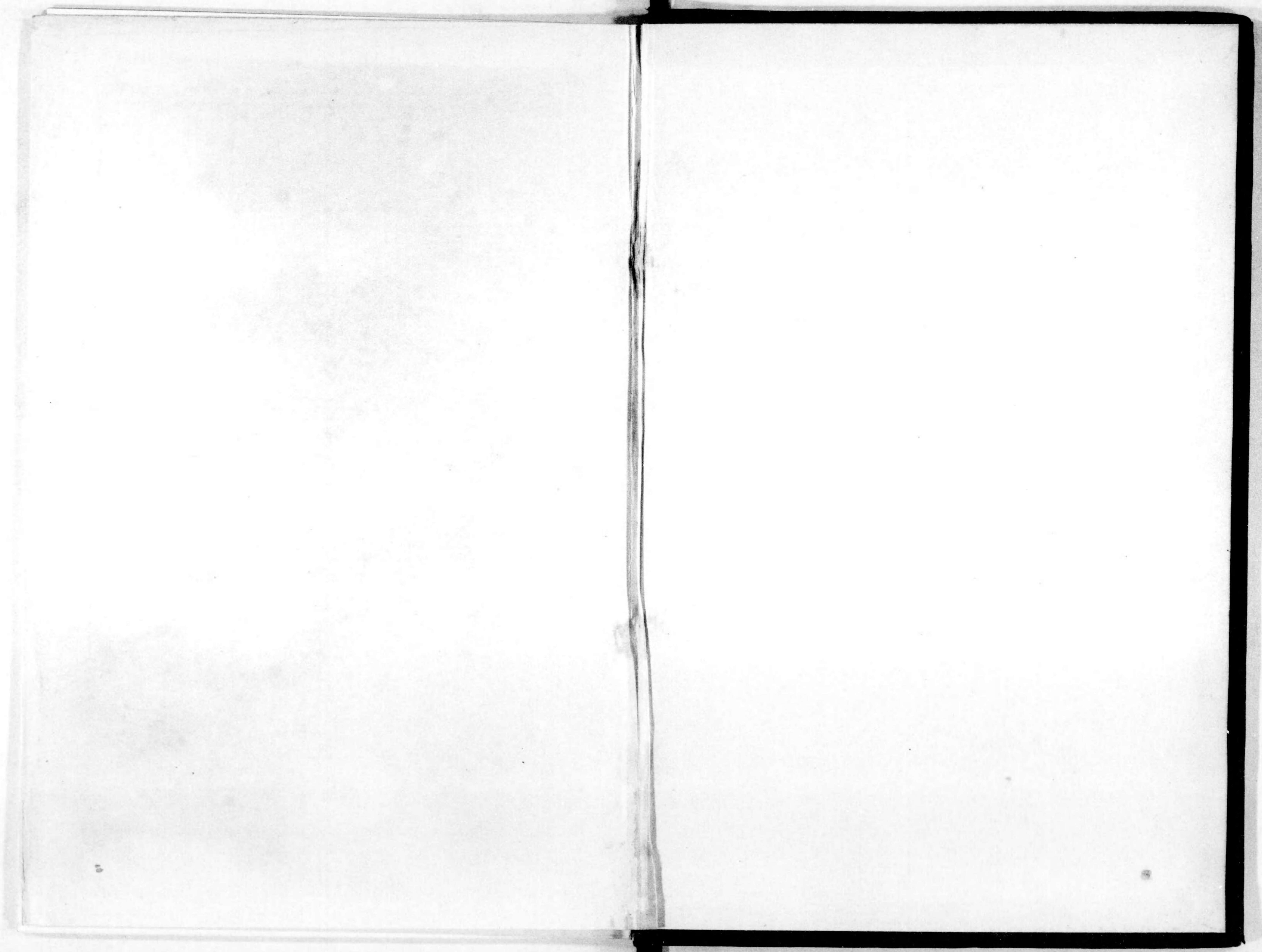
始



0<sup>m</sup> 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10<sup>m</sup> 11 12 13 14 15









前陸軍自動車隊附  
陸軍輜重兵中尉

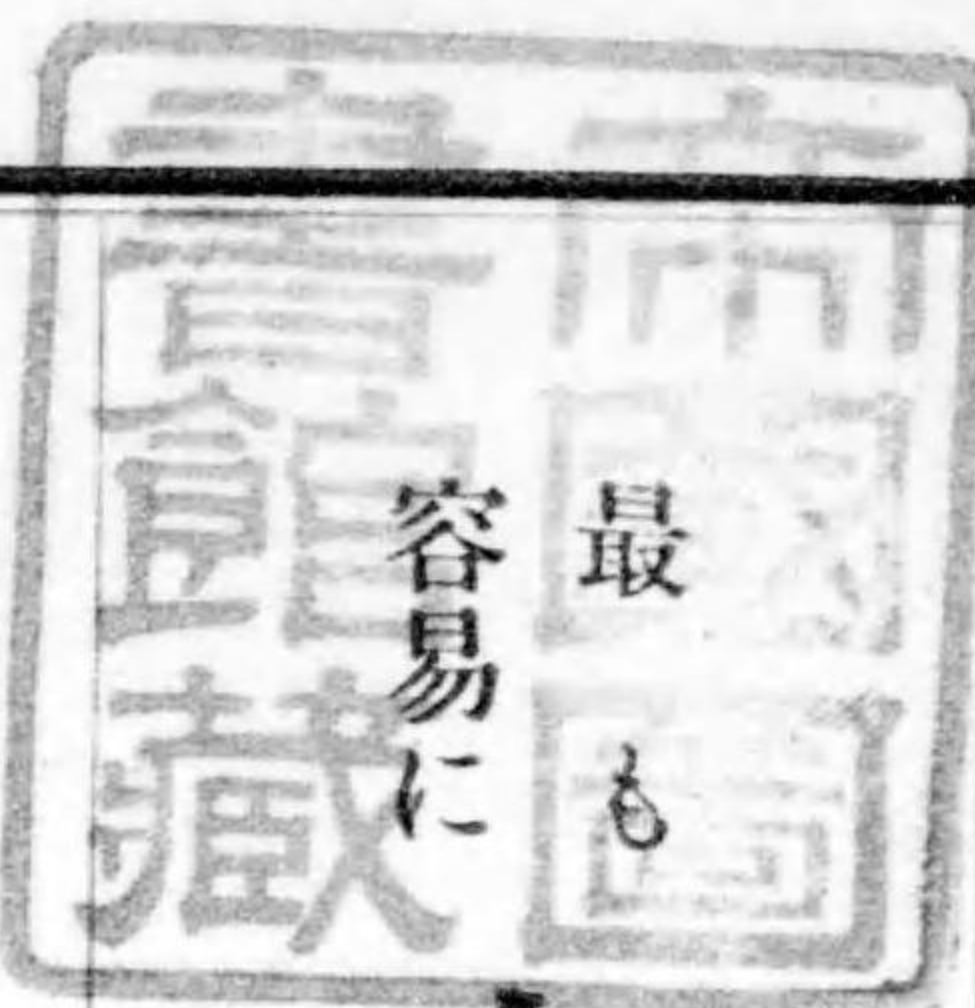
築瀬幸三郎著

自動車運轉手になる法

大正

14.6.23

内突



東京 誠文堂 藏版





者 著



特 106  
9

### 序

近來自動車熱の勃興に伴つて運転手志願者が非常に殖えましたが皆其準備及受験の要領並に手續等の不明の爲め苦しんで居るのを認め茲に「最も容易に自動車運転手になる法」の一書を著し志願者の參考に供することになりました

大正十四年一月五日

於世田ヶ谷

著者識す



# 目次

第一 總 則	一
一、通 則	一
二、運轉手志願者に具備すべき性質	四
三、運轉手志願者に必要なる學力	七
四、運轉手志願者の體力に就て	九
第二 自動車術の修業法に就きて	三
一、自動車に關する學科の修得法	三
二、運轉(操縱)術の修得法	三
三、自動車工術の修得法	三〇
四、最も容易に自動車運轉手試験に合格する法	四〇



五、助手の任務と助手或は見習中に於ける修養……………四五

六、助手として自動車の愛護と受験の爲めに修得すべき自動車の種類……………四七

七、學科試験の準備と受験の要領答解の書き方……………五一

八、運轉(操縦)試験の準備と其受験の要領……………五七

第三 參考事項……………六〇

一、運轉手、助手の收入問題に就て……………六〇

二、運轉手志願者の參考書選擇法に就て……………六四

三、運轉手志願者と自動車學校に就て……………六九

第四 運轉手及運轉手志願者に關係ある諸法規の大要……………一〇九

一、出願及願書の様式に就て……………一〇九

二、試験に關する法規……………一一三

三、就業地變更の場合の處置……………一二四

四、免許證の取扱に就て……………一二五

五、禁令及刑罰に關する件……………一二七

六、運轉間事故發生せる際の處置法……………一二九

七、就業中運轉手助手の遵守すべき事項……………一三二

第五 運轉手試験問題集……………一三六

過去數年間三百二十四題網羅……………一三六

第六 自動車細目名稱日英對照……………一五九

附 1 度量衡對照一覽表……………一

2 自動車税金一覽表……………四

3 内務省自動車取締令……………六

4 警視廳自動車取締令施行細則……………一九

5 内務省道路取締令……………四九

6 諸願書屆書様式例……………五五



最も容易に自動車運轉手になる法

築瀬幸三郎著

第一總則

一通則

今や世界は物質的文明的機械的文化の極度に達せんとし、運輸交通の機關として自動車全盛の機運に際會し、既に全世界の自動車數は二千萬臺を突破せんとしつゝあるのである。

一方地を換へて我國自動車界は昨年の大震災の苦き辛酸に鑑み人心の自動車熱勃

最も容易に自動車運轉手になる法



興甚だしく東京市に於ける自動車數丈けでも過去一年間に從來の倍數以上に及んで居るのである。將來我國道路の改正、實業の發達は自然に自動車の發達を催し車馬人力車等非文明的交通機關が漸次驅逐され行くは火を見るよりも明かな事實である。然るに自動車數の増加に伴ふ運轉手の補充は頗る困難にして其結果として技術の未熟なる運轉手の粗造多く延いては世界各國に類例尠き交通の事故數を現出し官廳の嚴重なる監督に依るに非ざれば到底此弊を一掃し得ざる誠に他國に耻づべき状態にあるのである。

他の列國に於いて自動車の試験に官廳の干渉して居る國は殆んどない、之れは他列國は我國に比し運轉者の素質の良好なのと自動車一般にあまりに通俗的に爲つて居るのと各種の施設が良好なのに起因するのであらう。

抑も我國の自動車教育なるものは現在多數ある自動車學校にしる何れも外國の其れに比し設備の不完全なるは勿論のこと、營利會社式の學校が大多數を占め又運轉手を志願する青年も單に收入や服装や生活等にあてがれて唯誇大なる新聞又は雜誌の廣告を唯一のたよりに一生涯の職たる運轉手を志願するのが最も運轉手素質の劣悪となる原因である。

私は常に運轉手の試験の如きは強いて官廳が干渉すべき性質のものでないと考へて居るのであるが、然し現在の如き運轉手の状態、又交通事故の状態、將又交通道徳の進歩せざる國に於いては官廳が干渉するのも止むを得ないのである、即ち如何に最負目で考へても運轉手各自に放任することが出來ぬ状態にあることを私は恨んで居るのである。

そこで吾々が最も理想として居る完全な運轉手となるには如何にすればよいか又優良なる運轉手となる捷路はどうであるかといふことを以下項を追ふて述べて見よ



5。

勿論述ぶる所は私が永い間の教育と経験とに基いて記述したものであるが、運転手志願者諸君が之れを實行せなければ何の価値もないのであるから讀者諸君は充分意のある所を汲んで實行に入つて貰ひたいのである。

## 二 運転手志願者に具備すべき性質

何れの職業を撰ぶにしても各々其性質、能力、財力等が之れに伴はざれば其人は其職業の爲めに終生苦しまなければならぬのである。

靴屋をして居れば適當な人が、つまらぬ考へを起こして内閣總理大臣といふ職についた爲めに人知れぬ苦勞して居るものも多々認める如く、自動車の運転手とならうと思ふ人達も充分自己の性質其他の諸條件が之れに適へるや否やを充分考慮せね

ばならぬ、即ち自動車の運転手は技術的の職業であるだけに一層性質の之れに適合することを要するのである。

扱て然らば如何なる性質が必要であるかといふと私は自動車の運転手は大膽で細心で且つ敏捷でなくてはならぬと思ふのである。

即ち危険な土地や雑沓した場所を運轉するにはどうしても小膽ものでは駄目である。突發的に何事が起らうともびくともせず膽力を落ちつかせて事を處する勇氣が必要である。

所が小膽ものは極めて些細な事にも膽を潰し失神の體となるのである。女の運轉手は一般に不適當であるといふのも女其ものが不適當ではなく其膽力が一般に欠乏して居るから不適當であるといふのである。

然しながら單に大膽といふのみでは往々にして暴に陥り易ひのである矢張之れに

最も容易に自動車運転手になる法



加ふるに細心でなくてはならぬ、微細な事項迄に注意が周到でなくてはならぬ。自動車は諸氏も承知の如く極めて微妙な機械であるだけに、例へばピン一本が抜けて居つても人命の數名も殺すと云ふ様な事故を發生するのである。

又行先に蛇が一匹飛び出しても子供が一人歩んで居つても眼光が忽ち鋭く光つて細心の注意が拂はれるといふ様でない、到底此危険な自動車運轉手たることは得ないのである。

然して又此大膽にして且つ細心の注意を拂ふにしても此所に更に之れが實行上敏捷の性質がなければ、如何に大膽であらうとも如何に細心であらうとも注意が周到であらうとも、何等の價値がなく依然として過失事故危険の豫防は出來ないのである。

以上の三ツが運轉手志願者の備ふべき性質の三大要素であるから、志願者諸君は

充分自らを顧みて果して己れが之れに適するや否を考慮し、愈々自信あるに至つて初めて馬車馬的に目的に向つて直進するがよい。單に服装や收入位にあこがれて輕佻浮薄な考へから此重大な職務に入ることは自己自らの危険であるのみならず、社界國家の危険であることを忘れてはならぬ、吳々も青年諸氏の輕擧を誡めたいのである。

### 三 運轉手志願者に必要なる學力

自動車を取扱ふには相當の普通學特に科學的の知識が必要である、新聞雜誌等に出して居る各種自動車學校の廣告には、我國の普通教育を終へたるもので充分である如く書いてあるが、それは生徒募集の關係上の一段に過ぎないのであつて實際はそう／＼簡易には成功出來るものでない、殊に過去は別としても將來の自動車運



轉手問題といふことを考へると轉寒心に堪へぬものがある。

従來自動車の運轉手といふものに對する一般社界の要求は、單に自動車のハンドルを握るといふこと丈で満足して居たのであるが現在には到底之れでは満足しない即ち優良なる運轉手であると共に修理調整に於いても優秀なる技術者否工術技師たることを要求する傾向になつて來たのである。

此點から考へると従來の運轉手の如く其無教育者や尋常小學卒業程度の學力では稍不足であつて、少くとも高等小學校卒業以上、中學三年修業程度以上でなくては仲々相當なる運轉手として活動することが出來ないのである。

電氣の何物たるや或は爆發とは如何なることたるやさへも解せぬ程度のもものが運轉手になつた所で寧ろ故障や事故が増す許りで自動車の持主の修理費や諸経費等が多にかゝる許りで、延いては我國自動車の發達迄を害することとなり、國家的に由

々しき大問題となるのである。然れば自動車の運轉手とならんと欲するものは充分自己の能力を考へ若し學力が不足であると思ふものは自ら獨學で以つてしても普通の學力更に初步の物理化學を研究して、然る後に目的に向つて眞直に進めば必ず成功は疑ひないのである。

自己の學力も省みず單に成功のみを急ぐと却つて失敗に終り遂に途中にて挫折し他を恨み自暴自棄に陥るのである。

何卒運轉手に志す諸君は深く此點を考へて努力されん事を望む。

#### 四 運轉手志願者の體力につきて

運轉手は常に自動車に乗つて居るのであるから別段體力も不要の様に素人考へを起すものである。



然しながら之れを詳細に考へて見ると仲々自動車の運転は非衛生的の職業であつて、日々に臭い健康に害のあるガソリンの匂を嗅いで居る丈けても唯事でないのに各種の脂油の爲めに穢く汚れ、又運転間は各種地形雑踏地の行進の爲め一方ならず精神、神経をつかふことに依り精神的に過勞し健康障碍を起すことが大である。殊に連日貨物自動車を運転するもの等は其震動の爲めに起り易き胸部の諸病氣、或は夜間遅くまで運転することに依る各種疾病、或は又屢々突發的に起る外傷等は到底普通一般の職業の比較でないのである。

一般に運転手は短命である、年齢が高齢になれば仲々其職に堪へないといふのも其原因が此所にあることを悟らなければならぬ。

以上述べたことに依つて諸氏は如何に運転なるものが健康に害を及ぼすかといふ事を考へたであらうと思ふ。

そこで將來運転手にならうと志願するものは神経系の完全な、精神病系統のないもので然かも胸部、及内臓部の健康な且つ眼及手足の最も完全に働く青壯年でなくてはならぬ。

巷間素人が叫ぶが如く運転手は良い／＼月収が多い、或は毎日自動車に乗るのであるから樂であるといふ様な、單純な誤つた考へから運転手を志願するときは遂に期待した希望は美事に裏切られて不成功に終るばかりでなく、よしんば試験には合格しても自己の生命迄短縮し他に害を及ぼすことが大であるから充分考慮に考慮を重ねた上で志願するがよ。



## 第二 自動車術の修業法につきて

### 一 自動車に關する學科の修得法

自動車に關する學科の修業研究は他の一般普通學の修得とは異り實物が研究者の腦裏に充分映じて居ない丈に初學者には仲々困難である。

近來自動車熱の勃興と共に之に關する参考書は殆んど雨後の筈の如く出版されて來たけれ共何れも初學者が一度や二度位讀んだ所で何が何やら理解さへ出來ず果ては研究に嫌氣がさして最初の目的が挫折するといふことになるのである。

そこで自動車を研究せんと思へば先づ第一に實物の自動車と書物とを對照して研究せねばならぬ。

これが爲め最も便利な方法は何れか自動車會社に入つて助手とでもなつて研究するのが一番近道である。

然しながら自動車學を研究するにはどうしても初歩の物理化學の力がなくてはならぬ。即ち平易なる電氣學、熱力學、機械學、光學、車輛學等若干の豫備知識をつけてそれから愈々自動車の研究に入れば理解が容易である。

参考書等も數へ切れぬ程多數にあるが最初は極めて平易な然かも最も挿圖の多い複雑でない書物を研究することが肝要である。

然るに初學者にして往々單に六ヶ敷い参考書を求めて理解さへ出來ざるに之を以つて誇りとして居る向きもあるが私は寧ろ此等は失敗に終るものであると思ふのである。

尙自動車學として研究に資すべき参考書につきては後項(第三、六考事項の部二)

最も容易に自動車運轉手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

一四

に於いて詳しく説明することとするも大體に於いて初歩者として基礎的に研究すべき項目をあぐれば次の如くである。

- a 自動車一般の構造と機能
- b 構造の区分
- c 機関の構造と機能

(一) 機関本體

- 1 機関本體の区分
- 2 氣筒
- 3 活塞
- 4 連結桿
- 5 曲軸

(二) 揮發装置及油槽

- 1 揮發装置の区分
- 2 揮發器
- 3 揮發器の作用
- 4 油槽

(三) 點火装置

最も容易に自動車運転手になる法

一五

6 瓣

7 傳動齒輪

8 曲軸室

9 機関の循環作用

10 機関の馬力



最も容易に自動車運轉手になる法

1 点火装置の區分

2 發電機

3 誘導線輪

4 配電器

5 電線

6 點火線

7 電路開閉器

8 點火時機

(四) 配油装置

1 配油装置の區分

2 曲軸室下部

(五) 冷却装置

1 冷却装置の區分

2 放熱函

3 風扇

4 冷却水の循環作用

5 冷却水の撰定

(六) 排氣装置

1 排氣装置の區分

2 靜響器

(七) 始動装置

最も容易に自動車運轉手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

1 始動装置の区分  
スターチングシステム

2 始動轉把  
スターチングてんは

3 電気始動  
エレクトリックセルフスタート

d 傳動装置の構造と機能  
トランスミッションシステム

(一) 聯動機  
クラッチ

1 聯動機の区分  
クラッチ

2 内輪  
クラッチディスクドラム

3 聯動機の種類  
クラッチ

4 聯動機的作用  
クラッチ

(二) 變速機  
チェーニチスピードキヤイ

1 變速機の区分  
チェーニチスピードキヤイ

2 變速機の構造  
チェーニチスピードキヤイ

3 變速機的作用  
チェーニチスピードキヤイ

(三) 回轉軸及半徑桿  
ドライブリンクシャフト

1 回轉軸の構造と機能  
ドライブリンクシャフト

2 自在關節  
ユニバーサルジョイント

3 半徑桿  
ラヂアスロッド

(四) 差動機  
デフエレンシャル

1 差動機の区分  
デフエレンシャル

2 減速齒輪  
ドライブイングキヤイ

3 差動機齒輪  
デフエレンシャルキヤイ

4 差動機的作用  
デフエレンシャル

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運轉手になる法

e 車軸の構造と機能

1 車軸の區分

2 前車軸

3 後車軸

f 車輪の構造と機能

1 車輪の區分

2 前車輪

3 後車輪

g 車體の構造と機能

1 車體の區分

2 車架

- 3 車體の構造種類
- 4 車體の側面附著物
- h 車體發條の構造と機能
- i 操縱装置の構造と機能

(一) 操向機

1 操向機の區分

2 齒輪装置

3 操向機的作用

(二) 操速機及聯動操縱機

1 操縱機及聯動操縱機の目的

2 聯動操縱機の構造と作用

最も容易に自動車運轉手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

3 後退作用

(三) 瓦斯點火及空氣調整機

1 瓦斯調整機の構造と作用

2 點火調整機の構造と作用

3 空氣調整機の構造と作用

(四) 制動機

1 制動機の區分

2 手動制動機の構造と作用

3 足動制動機の構造と作用

(五) 警報器の目的の機能

j 照明装置の構造と機能

1 照明装置の區分

2 前照燈及尾灯

3 發電機の構造と機能

4 蓄電池の構造と機能

5 電流計の構造と機能

以上は極めて基本的の研究項目にして操縦及修理調整に關しては項を逐ふて説明す。

## 二 運轉（操縦）術の修得法

運轉術の修業は地味に密に修得することが一番肝要である。兎角若い青年の諸君は華やかに巧みに運轉しやうと考へるものが多いが之れは非常な誤解である危険で

最も容易に自動車運転手になる法



ある。

私は永い間幾百千といふ人に自動車の教育を施して来た所の経験に依ると、最初は修業者はあせつてはならぬ、極めて漸進的に然かも極く細かい運動に依つて腕を鍊つて前輪及後輪の位置の關係が充分腦裏に徹底し、且つ自信がつく迄は廣地上に繩等に依りて各種地形を假設練習する必要がある、妄りに道路上を運轉したからと云つて技倆の進歩するものでない。

大凡過去の経験に依ると一種類の自動車を修得するに無経験者は通常約四十時間を要するものとして、其内二十五時間は細かい運動を密に練習する方がづつと進歩が早く又間違ひも起こさぬ様に思ふ。

往々最初からどんく道路上を運轉して立派に修得したかの如く言ふ人もあるが此等の人が一度難地に入り或は突發的事項が起つた時は必ず事故を出來することは

私は今迄自己が教育して来た見地より聲を大きくして叫ぶことが出来る。

又前記修業に要する四十時間といふのも一息に四十時間練習したからとて上達するものでない、毎日二三分か一時間位宛練習し然かも他人の運轉を見學し種々批評眼を以つて自らを誡め以つて研究的に練習せぬと四十時間の効果はあがらないのである。

他人の運轉の見學は無駄の様に考へるけれど細心の注意を拂つて見學すれば、之れ程効果の大なるものはないのであるから大いに細心で見學するがよい。

又我々は能く見受けることであるが、廣濶な練兵場の様な一物の障りさへない土地で變速一つすることなく、只莫然と亂運轉をして如何にも充分自動車を理解した様な感をして居る人があるが、之れは大なる誤りであつて誰しも廣い土地で運轉し初めた極く初期には如何にも自惚れるものであつて到底彼等が云へが如く簡單に行



くものでない、又志願者も軽々に彼等の言は信じてはならぬ。運転は單に走る意味でなく素人の知らぬ言ふに言へぬ見所があるのである。吾々は一步道路上に踏み出せば曲り角もあれば坂路もある雑沓地もある、危険な斷崖もある、其間の微妙なる運転は餘程最初に緻密なる基本操縦から練習して行かぬと駄目である。

以上の如く要するに自動車の練習は地味に緻密に細かい運動より漸次各種地形の運転に入るべきものであつて左に練習すべき事項を順を逐ひて記すれば大様次の如くである。

(一) 基本操縦

1 始動及運転と運転停止

- イ 機關始動前の準備
- ロ 始動及始動の爲めに爲すべき動作

2 發進及停止

- ハ 始動後直ちに爲すべき動作
  - ニ 始動困難なる時の動作
  - ホ 運転停止の動作
- 發進及停止
- イ 發進の操作
  - ロ 行進間機關につきて注意すべき事項
  - ハ 停止の動作
  - ニ 運転後の注意
  - ホ 急止の操作
- 3 速度變換及速度の伸縮
- イ 速度變換の爲め惰力的作用

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

ロ 増速の操作

ハ 減速の操作

ニ 變速に依らぬ速度の増減

4 右(左)向行進及後向行進

イ 右(左)に回轉の操作

ロ 後向の行進

5 後退

イ 後退の要領

ロ 斜方向の後退

ハ 後退より停止

6 旋回

(二)

應用操縦(各種地形行進)

1 各種道路行進間の注意事項

2 普通道路行進間の注意事項

3 坂路行進間の注意事項

4 狭少なる道路の行進要領

5 雑踏地の行進要領

6 泥濘地及滑走地の行進要領

7 凹凸不齊地の行進要領

8 渡渉の要領

イ 旋回の要領

以上略記した様な項目について確實綿密に修得すればよいのである。尙ほ甚だ倍最も容易に自動車運転手になる法



越の到りてあるが實際之れに關する詳しい説明は私の前著、受験必携自動車學及フ  
オード自動車學（東京九段下山田自動車商會に於いて販賣す）に詳しく説明して  
置きましたから必要ある人は參考に供せられたい、價格は前者は二圓五十錢後者は  
一圓八十錢である。

### 三 自動車工術の修得法

前編各項にも説明した通り現在一般社會に於いて要求されて居る完全なる自動車  
の運轉手とは單にハンドルを採る丈の意味でないことを記憶されたいのである。  
即ち完全に工術の技倆のある運轉手でなければ需要者が承知せぬのである。  
一通りの修理調整位が出来ない運轉手であると傭主は總べての點に於て指が大  
さいのである。そこで私の言ふ工術とはどんなことであるかといふに、それは極め

て簡単な小刀や鑪の使用方から各種大小修理調整、點檢、大小分解結合等を指すの  
であつて運轉手を志願するものは半年や一年又は運轉手に合格したものであるも終生油  
に浸つた作業服を身に纏つて自動車の下にもぐり込み、修理に點檢に調整に骨身を  
惜まぬ覺悟が必要である。

殊に助手として見習中のものは自己の研究の必要上、特に此工術に熱心に努力せ  
ぬと、愈々運轉手となつた曉に、出先等に於いて自動車の故障が起つても修理調  
整さへも出来ず困るのみならず、此工術に上達して居らぬと總べて時間が徒費され  
るのである。

如斯運轉手の工術に對する技倆が進歩すれば進歩する程、自動車の經費は少く  
てすみ且つ又常に自動車も完全に整つて居ることになるから休業することも少く、  
従つて益々自動車は經濟的たることを社界に認められ其發達期せずして望まれるの



である。

従来の如く運転手が單にハンドル丈の運転手であつたならば、此希望は全く裏切られ我國の自動車界の前途に暗影を投ずるのである。されば運転手志願者は思ひを此所に致し押しも押されもせぬ運転手となる如く努力されたい。

尙工術研究の参考書としては、築瀨著「フォード自動車學」(定價一圓八十錢)及目下脱稿し本年二月末頃を以つて出版豫定の「自動車の故障と修繕」なる二書を用ふれば自ら明瞭に理解出来るが左に修得すべき工術の項目を記載列挙すれば次の如くである。

工術研究項目

其一 故障及調整

(一) 機關の故障及調整

- 1 機關始動せざる時の點檢法
  - 2 機關の回轉不良にして動力不速なる時の點檢法
  - 3 機關の回轉中止したる時の點檢法
  - 4 機關過熱の原因と處置法
  - 5 機關異狀の音響を發する原因と處置法
  - 6 瓣の故障と調整
  - 7 點發裝置の故障と調整
  - 8 點火裝置の故障と調整
  - 9 冷却裝置の故障と調整
- (二) 傳動裝置の故障と調整
- 1 聯動機發條の故障と調整

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運轉手になる法

2 變速機の低速帯の故障と調整

3 摩擦鈹の故障と調整

(三) 操縦機の故障と調整

1 操向機傳動桿の故障と調整

2 聯動踐鈹の故障と調整

3 瓦斯轉把の故障と調整

4 制動槓桿の故障と調整

5 電氣始動裝置不良の場合の點檢法

其二 分解結合及修理

(一) 分解結合上一般の注意事項

(二) 機關部の分解結合及修理

1 機關部を車框より離脱する法

2 連結桿の分解と結合

3 連結桿軸筒の修理法

4 瓣の分解結合と合法

5 揮發器浮子の修理

6 發電機の分解と結合

7 放熱函の修理法

(三) 傳動裝置の分解結合と修理

1 變速機の分解

2 變速機及聯動機の結合

3 後車輪の離脱法

最も容易に自動車運轉手になる法



最も容易に自動車運轉手になる法

4 自在關節の離脱法

5 差動機及後車軸の分解結合法

(四) 車軸反車輪の分解結合と修理

1 前車輪の分解法

2 後車輪の分解法

3 後車輪の結合法

4 前車軸の分解法

5 前車軸及軸臂の修正

6 前車輪軸承の結合

7 空氣入輪帶の離脱

8 空氣入輪帶の結合

9 空氣入輪帶外部の修理法

10 空氣入輪帶内部の修理法

11 輪帶燒着法

(五) 操縦装置の分解結合と修理

1 ステアリングホイールの離脱

2 操向轉把遊隙の修正

3 制動機、制動環の摩滅せる時の處置

其三 手入及取扱法

(一) 手入法につきて

1 日常使用後手入點檢の必要

2 車體の洗滌法

最も容易に自動車運轉手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

- 3 脂油の爲め汚れたる自動車の拭淨法
  - 4 氣筒内に蓄積せる炭素の除去法
  - 5 揮發性の流通を妨害する原因を除去する爲め揮發装置各部の手入法
  - 6 配電器の手入法
  - 7 點火栓の手入法
  - 8 曲軸室の手入及油の取換
  - 9 放熱函の手入法
  - 10 車輪穀内の手入法
  - 11 車體發條の手入法
  - 12 蓄電池電液の補充法
- (二) 給油につきて

1 脂油の種類

- 2 二百哩毎の給油法
  - 3 二百哩毎の給脂法
  - 4 五百哩毎の給油法
  - 5 五百哩毎の給脂法
  - 6 後車軸の給油法
  - 7 操向機齒輪室の給油法
  - 8 車體發條の給油法
- (三) 取扱上の注意
- 1 冷却水不凍液の作製及使用方法
  - 2 冬期、配電器脂油の粘着豫防法

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運轉手になる法

四〇

- 3 前後車軸の検査と點檢法
  - 4 自動車の格納法
  - 5 幌の折疊み方
  - 6 蓄電池より發電機に電流を通ずる時磁鐵放磁の豫防法
- 以上の項目につきて研究すれば一通精通することが容易である。

#### 四 最も容易に自動車運轉手試験に合格する法

自動車の練習して運轉手試験に合格する道には次の様な六種類の経路がある。

- 1 最初から自動車學校に入學して卒業すれば直ちに受験する方法。
- 2 助手のみで押し通す方法。
- 3 最初學校に入り後、若干助手を勤める方法。

- 4 自動車學校に入る前後若干の助手をとめる方法。
- 5 最初若干助手をとつとめ後自動車學校に入り卒業後直ちに受験する方法。
- 6 自ら自動車を購入し研究する方法。

以上の六種類のの方法はあるが勿論各人の性質と能力と財力とに依つて各々分れて來るのであつて何れを以つて最善であるとは私は斷定することを避けたい。

然しながら充分技術上其學力體力等の能力があつてやるのなら直ちに學校に入り受験するのも一方であるう、又或は財力等のつづかぬ人は徹頭徹尾助手で通しても成功はする。

然しながら吾々は單に運轉手試験に合格するといふ丈では價値のないものであつて少くとも優秀なる押しも押されもせぬ運轉手となる覺悟が必要なのである。これが爲めには4から5の方法を擇ぶのが一番安全で確實で財力がなくても出来る方法で

最も容易に自動車運轉手になる法

四一



ある。

元來第一の方法は最初から相當の資本をかけねばならず現在自動車學校の卒業生が直ちに受験して其合格率が良好なる學校で百分の二内外であるといふのに對して寧ろ危険に感ぜざるを得ないのである。結局卒業後三ヶ月も半年も助手や見習をせねばならぬといふことに歸着するのである。

第二の方法は資本もかゝらずよろしきも長期日月を要する不利がある。

此方法は財政上の不利ある極めて健康なる體力旺盛者の採るべき一手段である。

第三は第一の方法に失敗したものゝ當然歸着すべき方法であつて矢張最初に若干の財力を要する不利があるのみならず、最初に學校卒業した人は比較的自惚れて却つて失敗するものが多いようである。

第四の方法は比較的長日月を要し一見馬鹿くしい様であるが實際一番確實な財

力もいらぬ最もよい方法であつて合格後も直ちに優良なる運転手の部類に屬するこ  
とが出来る。

第五の方法は概ね第四の方法に同じものなるも只第四の方法に比し頭腦明晰な技  
術優秀者の採るべき手段である。

第六の方法は財力に關係なき金持の子弟が自ら運転する自動車の運転手たらんと  
する時に用ふる練習方法であつた一般に運転手を以つて職業とし糊口をしのぐもの  
ゝ擇ぶべき方法ではない。

以上六種類の方法を列擧して説明しましたが私としては諸氏に對し各位が特種の  
事情のない限りは第四か、第五の方法によつて勉勵されることを切にお勧めするの  
である。

又受験の方法には最初から甲種運転手を志願する方法と先づ乙種運転手を志願し



其合格後若干の後更に甲種運轉手を志願する方法との二種の方法がある。

私は久しい間助手生活に學校生活をした充分の確信ある志願でない限りは後の方法手段を撰擇することをお勧めしたのである。

乙種の試験は實に容易であつて其合格後の月收にしても甲種とは大差ない。

そして一度甲種の試験に落第すれば三ヶ月もたねば受験することが出来ないものである。

そんなに甚だしい危険を冒して甲種運轉手の試験を最初から受験せなくても極く容易な乙種の免状を取つておきさへすれば生活の安定を得且つ途中に於て据折することなく漸進的に確實に目的の達成出来るのである。

如斯目的は皆一つであつて其取るべき徑路が各人の各種條件に依つて夫れ夫れ分れて來るのである。

然しながら一般に誰にも適當した然かも最も實行し易經費の餘計にかゝらぬ且獨力でやつて行ける方法は前記第四、第五の方法であつて近來新聞や雜誌に一躍運轉手になり得て高給を得るが如く記載せる誇大の廣告に迷はされて頓んでもない深穴に陥らぬ様に注意されたいのである。

### 五 助手の任務と助手或は見習中に於ける修養

助手は運轉手に附屬して各種の手傳をすると同時に自ら自動車に關する學科、運轉及工術等を見習ひ且つ實習するのが任務である。即ち水汲みもせねばならぬ、自動車の手入もせねばならぬ、荷物の積卸しも手傳はねばならぬ。

其他一切の雜役に服さなければならぬものである。

然るに初めて自動車運轉手に志を立て、出京した人も初期の程は至つて決心



も鞏固で甲斐甲斐しく立働さ熱心に研究するが直ちに色々此決心か鈍り段々贅澤になり忽ち怠けて樂して金儲けでもしやうといふ様な不心得に陥るのである。

此れは非常な間違つた考へであつて助手として居る間は何事にも率先して骨身を碎けは碎く程自動車の事にも精通し早く其目的を達成することが出来るのである。

怠ければ怠ける程他人の損でなくて皆自己の損失であることを忘れてはならぬ。

例へば助手として一寸自動車に同乗して出かけた場合でも運轉手の注意振り運轉手の運轉振り一舉手一投足に至る迄細大もらさず仔細に批評眼を以つて研究し若し自己か運轉するならば此場合どういふ様にするかと云ふ事迄考へつゝ助手の任務に服して居ると其進歩も顯著であるのである唯だ莫然と街や行人や景色等を眺めながら同乗して居るような事では到底何等得る所がないのである。

又助手として勤めて居る間に自分が運轉手となつてからの人の使方、助手の使方

或は荷主や客に接し方を充分研究しておかねばならぬ、之れは助手をして居る間は第三者の位置に立つて比較的冷靜に研究し易いから便利である尙一ツ助手にある間に注意し警戒せなければならぬ事は運轉手の放逸散漫なる生活状態に引込まれて之れに染まぬことである。

昔から諺に言ふ如く朱に交れば赤くなるものである放逸なる運轉手と起居動作を共にすれば不知の間に之れに染つて愈々運轉手に合格した時は悪い癖迄も浸み込んでしまつて取り返しのかね様になつて居ることがある折角運轉手の難試験に合格しても何等の價値がないのであるから此點は深く自ら誠めて注意を拂はれたものである。

### 六 助手として自動車の愛護と受験の爲めに修得練習すべき自動車の種類



自動車は運轉手の唯一の武器である。

之れに依つて運轉手は生活をつづけて行くのであるから充分其手入點檢、修理、調整が行はれ遺憾なく自動車の愛護されなければならぬ然るに往々使用する時は殆んど極端な使方をしながら反面には一向手入も修繕も施さず放置してあるのが多い様である。

私は常に之れを見て残念に思つて居るのであつて將來我國の自動車界を考へ運轉手たるものが深く注意を拂はぬと折角今日迄發達して來た自動車界が其發展を阻害され自動車の價値を没却される虞があるのである。

されば運轉手志願者は最初から自動車の愛護といふことを充分考へて研究修得されたいのである。

次に運轉手の試験を受ける迄に志願者は如何なる種類の自動車を練習しておく必

要があるかといふ問題である。

一體我國に既に輸入されて居る自動車の種類は百種以上を以つて算せられるのであつて此等を悉く練習するといふ事は勿論運轉手になつた後でも仲々各種の自動車を研究することは困難である。

そこで先づ代表的基本的の自動車を數種撰んで練習するがよい、今代表的のものを列擧すると次の様である。

(1) 乗用自動車

- 1 フォード (現在我國使用自動車中最多數を占む)
- 2 ビツク (目下高級の乗用車として最も流行し)
- 3 ハドソン (各装置共代表的のものである)
- 4 プロトス (獨逸製品にして操縦の困難なるもの)

最も容易に自動車運轉手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

(2) 貨物自動車

- 1 フォード貨車 日本内地に最も多く使用されつゝある
- 2 マツク貨車 貨車にして各装置の代表的なもの

右の六種類を練習しておけば他の何れの自動車も大抵は類似の装置であつて一度手に取れば理解容易で且操縦も易々たることである。現在警視廳に於ても左記の乗用車四種類に依つて運転手試験を施行して居るのも大いに理に適つた所置であることが首肯できる。

それから志願者は兎角乗用車の運転ばかりに傾き易い弊があるが將來の事を考へて見ると貨物自動車が大部分を占めるべきは當然の事で又貨車の方が乗用車よりも操縦の困難であること等を思ひ寧ろ大いに貨物自動車の練習に努めることを御勧めするのである。

次に自動車の種類と練習時間の配當であるが私は次の如く定めたい。

フォード	50%
ピツク及ハドソン	25%
プロトス	10%
貨車	15%

右の如くであつて、あれやこれやと生半に各種のものに手をつけるのも却つて進歩を妨げるものであることを考へて専心研究されん事を切望するものである。

七 學科試験の準備と受験の要領答案の書方

運転手として必要な學科の程度は博士や學士が研究する様な深遠なものでなく極く淺い廣い實際的實用的通俗的のものであつた。

最も容易に自動車運転手になる法



従つて現在各所の運轉手試験の問題を見ても極めて平易で且つ運轉手として直接必要な問題のみしか出題されて居ない。

若し運轉手に必要のない様な深い六ヶ敷問題が提出された時は寧ろ出題者が誤りであつて失敗した所で何等關知する處でない。

然るに運轉手志願者の中には之れを全く履き違へて居るものが多くあつて肝心な運轉手として必要な自動車の取扱上の注意事項や、手入、點檢、調整、修理に關する簡単な事項も辨へずして唯一部分の深いこと許りに没頭し以つて運轉手試験には却つて失敗して居るものが多いのである。

何所迄も廣く淺く通俗的でなくてはならぬ、そこで参考書も最初から六ヶ敷ものに依らず成る可く簡單平易明瞭にして且挿圖の數の多いものに依つて現物の自動車及圖と本文と三者を對照し一通り充分合理的に研究し徹底的に理解したる後更らに

之れを反復、複習し更に必要あれば漸次深い研究に入るがよい。

そして愈々學科試験の二週間位前になると今迄讀んだ参考書の内容を統一して腦裏に深く印象を残すため試験問答集につきて研究し以つて其記憶を確實にし頭を整頓し試験場に臨んで不覺のない様にするのである。

但し最初から問題に山をかけてやるが如きことは一般に失敗に終り易いのみならず、よし幸運にして合格しても愈々運轉手となつた後自ら苦しまなくてはならぬのである。

自動車學の外に試験に課せらるゝ道路取締規則及自動車取締に關する諸規則は運轉手としては直接日常必要なるものであつて危険とか交通事故の原因となるものであるから試験は更に自動車學よりも一層嚴密に施行されつゝある此事を考へずに自動車の運轉手は自動車の事さへ判ればよいといふように考へて居ると、非常な失



敗に終るものであることを承知されたい。現在警視廳等に於いても頻々たる交通事故に鑑み、運転手試験に於いて此法規丈は満點でなくては絶體に合格させぬ方針であると聞き及んで居るから爲念附言しておく。

次に愈々學科の試験場に臨んでは如何にすべきかである。

最も肝要な事は頭を冷靜に保つて提出された問題を幾回も熟讀することである。兎角受験者は試験場に入ると頭がのぼせ上つて祿々試験問題も充分頭に入れず只夢中に全く見當違ひの回答をして氣の附かないものが頗る多い、此種の間違ひをやるものは如何に勉強して居るにしても先づ第一に沈着を欠いて居るといふ點から云つても、運転手たるの人物試験から見ても當然資格がないことを看破されるのである大いに沈着に受験せねばならぬ。

扱て問題を充分熟讀したならば充分筆を執つて書き初める前に層一層答解の書方

を腦中で秩序的に考へ整理し如何にも能く自己の意志のある所を試験官に發表し得る如く組み出さねばならぬ。

私が過般運転手の志願者の受験答案について見聞したことがあるが悪く一言で評すれば下手な電文とでも云ふのが適評である様に思ふた。

實際ダラ／＼と片假名や平假名まじりの意味の通じない長い文章が書き連ねてあつて全く試験官泣かせてである。

恐らく書いた人も自分で何を書いたのやら後になつて判断に苦しむ事であらうと思はれる、そこで私が受験者にすゝめるのは要點丈を成る可く簡単に個條書きにすることである。

試験官は如何に簡単に箇條書きにした所で必ず受験者の技倆能力は判断することが容易である。長い許りが良いのでない、簡単適切明瞭がよいのである。



愈々答解は書き終ると之れを提出する迄に再三再四時間の許す限り反讀して誤字や脱字や其他間違つて居る所を充分訂正し以つて完全な答解にせねばならぬ。然るに受験者の多くは早い方がよいかの様な考をして唯書き流したまゝで提出して退場するものが多い。何も時間が早いからとてよいのではない、完全な答解の出来て居るのがよいのであるから急ぐことなく充分に自分の意志の發表出来る迄修正訂正するがよい、却つて惶てたため失敗する人が多々あるのである。又文字の書方は成るべく確實にあまり略字を書かず楷書か行書にして太く濃く大字で書くのがよい小さい細い薄い字を書くとき自然試験官の閲讀を困難ならしめ自分自己の意志を見て貰ふことが出来ない運命に立至り不幸を見なくてはならぬ。以上至つて雑然と記載したが大體に於いて前記の注意を守つて自分の能力を充分發揮すれば合格することは保證附きである。

呉々も言つておくが受験場へ入つたら沈着が第一である沈着でありさへすれば失敗はない。

### 八 運轉（操縦）試験の準備と其受験要領

操縦の實地試験は學科試験と異り試験の一日や二日前に試験勉強することに依り急に上達するものでもない。

最初から徐々に努力研究し、本當に確實に腕が鍊れて居らねばならぬのである。大體に於いて志願者は試験自動車と同種類のものを多く練習して居るだらうと思ふが人間にも十人よれば十人共癖があるが如く同種類の自動車にも悉く個々別々の癖があるから其各自動車の癖を看破することが最も必要である即ち最も迅速に受験用の自動車に馴れてお、ことが必要である。



現在自動車の實地試験は府縣に依つて二種類に分れて居る即ち試験用自動車を官廳に於いて設備してある所と他は各自が試験用自動車を携帯して受験する所との二種類ある。

前者に對しては受験者は受験前日あたりから其自動車に馴染むことは出来ぬから受験當日他人の受験中充分之れを見學して其要領を看破する外自らも充分點檢して調子を見るがよい只命ぜらるゝまゝに自動車の調子や癖も見ることなしに飛び出してはいけない。

それから後者の方の場合には受験の兩三日前より自己の受験用の自動車を試運転して充分其癖、其他調子等について要領を會得しておけば失敗することはない。扱て愈々受験場に臨んで最も注意せねばならぬことは何であるか之れは學科の所でも記したのであるが實科の試験に於いては最も必要なことである沈着を欠かぬこ

とだ。

學科とは異り志願者が運轉して居る側には嚴とした試験官が同乗して居る、いやが上にも受験者の心は沈着を欠いて來る状態にあるのである。

一體受験者が沈着を欠く原因は種々あるが、餘り焦せること或は自己の技倆よりも巧妙に運轉せんとすること或は試験官を恐怖すること、或は試験場に場馴れせぬこと或は必ず合格しやうといふ野心の満々たること等であつて之れが却つて多くの人々を失敗させて居るのである。

元來能く冷靜に考へて見ると運轉手の試験は試験場に出場すれば平素の技倆の七分か六分が充分發揮されるは上出来であるのである。

それを試験場で更に上手に見せようとか或は僥倖にうまくやつてのけやうなどと考へるのが根本の誤りである。



そこで私は受験者の爲めに一言するが諸君は試験場に臨んでは心中虚心、淡快、全く欲心を去り、恐怖心を去り、試験官の同乗せることを眼中におかず、只平素と同様の練習をせる心持を持つて受験せよ、必勝は請合である。

必ず運転手の榮冠は諸氏等の頭上に落ちて来る。

### 第三 参考事項

#### 一 運転手助手の収入問題に就きて

運転手志願者は之れに依つて將來生活の道を立て、行かうといふのであるから、其先決問題として、運転手及助手の収入問題に就いて充分考慮を拂つておく必要がある。

又他の援助を受けず自立自營で以つて成功しやうと思ふと如何程の経費が入用であるかといふ事も考へて出發せぬと大抵途中に於いて挫折するといふことになるのである。

扱て今田舎から無經驗者が飛び出して来て助手として自動車屋に勤めると大抵まあ一ヶ月月収三十圓乃至四十圓位で之れに若干の心付があるから總収入が四十圓から五十圓位の間にある。

此収入に對して先づ食費は簡易食堂でも食事すると一ヶ月十五、六圓で済むから若干の小使錢を差引いて二十五圓位は月々貯金が出来る。

此二十五圓位を月々貯金してむくと半年位助手を勤めて居る間に百五十圓位の金が蓄財出来る之れを以つて自動車學校の速成科位に二ヶ月か三ヶ月位入學勉強することが出来るのである。無論贅澤を言へば限りはないが充分節約してやれば丁度



一杯である、萬が一、不足することあるも十圓二十圓位の不足であるから何とかなる。

次で愈々自動車學校を卒業すると直ちに試験に合格すればよし、若し不成功に終つても再び二三月助手をすれば何も苦しむ必要はないのである家庭や親類から何も補助を受けなくても獨力で一ケ年位辛棒する氣になれば立派に運轉手となつて成功して行くことが出来るのである。

扱て確實に自動車運轉手試験に合格したら幾何程の収入があるかといふ問題である。

之れは其就職する所に依つて區々であつて一定した斷案は下し難いが一般の相場が先づ百圓から特種なのが百五六十圓位迄であらう。

まあ百圓から百二十圓位の總収入と考へて居れば違算はなからう。

以上は甲種運轉手に就いて述べた事であるが乙種運轉手にしても八十圓から百圓位の収入はあるから生活の脅威は受けることはない。

今甲種運轉手に初停年の十八歳で合格し三十歳迄獨身で勤め其間二年間軍隊に入營するものとすれば運轉手生活十年間に多大の貯蓄が出来るのである。

即ち一ケ月百二十圓の収入として獨身であるから毎月五十圓宛の諸經費を使ひ残り七十圓を毎月確實に貯金すれば一ケ年に八百四十圓の蓄財が出来る之れを十年間續けるものとすれば八千四百圓其上に更に利息を加へて有に一萬二三千圓の金が三十歳になると出来て居るのであるそこで立派に家庭を作り之れを資本として自己の長い間経験ある自動車に關する營業をすれば其成功は疑ひないのである。

所が一般の運轉手は兎角都會に出ると段々華美に流れて金錢を浪費する様になつて遂には負債迄もする様になるのである。



どうか將來運転手に志す純なる青年諸氏よ此輕佻浮薄なる現在の運転手に染まぬように嚴然と固い決心を以つて私の今論じた事を座右の銘として充分實のある生活をせん事を切望するのである。

## 二 運転手志願者の参考書の撰擇法に就きて

参考書の撰擇は志願諸氏の學力と過去に於ける職業又は經驗の有無等に依りて一様には論ずることは出来ない。

又参考書には極めて平易に通俗的に出來たものと極めて深く詳細に學研の爲めに出來たものとの二種類あるが私は運転手を志願する初學者のためには極めて平易な然かも見取圖的の挿入圖解の多い説明の簡單なものを勧めたい、そうして此参考書を只一冊について再三再四圖と對照研究讀破し一通り基本事項に精通するのが最も

よいと思ふ。

愈々基本的に充分理解した後は更に一段進んで深く研究するのもよい只最初から六ヶ敷書物についてあれもこれもと讀み嚙つても利する處は少ない寧ろ運転手受験の爲めには却つて害がある即ち頭の統一が困難になるのである。

そこで愈々一通り精通すれば頭の統一整理の爲めに受験問題集を讀んで受験の準備をするのが勝利である即ち問答集に依つて研究すると要點が適確に腦中に記憶さへ印象を残すからである只莫然と讀んだのでは試験場等に於いて焦つて居る時は仲々頭の中に浮んで來ないが問答集をやつたことはそれは確實であるとは悉くの受験者の言ふ所である。

私は呉々も受験者に勧めるが前述の様な方法で研究をすれば必勝は疑ひない。色々の参考書や廣告で迷はされぬ様にすることが大切である。



最も容易に自動車運轉手になる法

六六

又六ヶ敷参考書は受験の爲めに見るといふよりも合格後更に進んで技倆を錬る爲めには大に見て研究練磨するがよい。

左に参考書の最も適當であると思ふものを列記すれば次の如くである。

1 受験者最初の研究参考書

(イ) 自動車の知識

著者中原辰吉

定價 三圓

發賣所 神田錦町誠文堂

(ロ) 平易なる自動車學

著者山田歩兵少佐

定價 四圓八十錢

(ハ) フォード自動車學  
發賣所 九段下つるや書房

著者築瀬中尉(前自動車隊附)

定價 壹圓八十錢

發賣所 東京九段下つるや書房

1 受験者の受験前必讀すべき試験問答集

(イ) 受験必携自動車學

著者 築瀬中尉(前自動車隊附)  
和歌國雄

發賣所 東京九段下つるや書房

3 更に合格後深い研究の爲め良参考書

最も容易に自動車運轉手になる法

六七



最も容易に自動車運轉手になる法

(イ) 自動車

著者 柴藤 菅一

定價 六圓

發賣所 赤坂溜池極東書院

(ロ) ガソリン自動車

著者 橋本 清

定價 三十七圓五十錢

發賣所 國民圖書株式會社

(ハ) 飛行機と自動車(自動車の部のみ)

著者 金井 武一

定價 十六圓

發賣所 大倉書店

4 工術に關する參考書

(イ) 自動車の故障と修繕(大正十四年三月出版豫定)

著者 梁瀬 中尉

定價 未定

發賣所 未定

尙此外に參考書としては各自動車學校の講義録其他多數に出版されて居るか私が  
讀んだ所に於いて大體以上のものが適切な様に思つたから記したのである勿論他の  
參考書も悪いといふのではないから其點は私の經驗上個人の私見であることを諒せ  
られたい。

三 運轉手志願者と自動車學校に就きて

最も容易に自動車運轉手になる法



毎日新聞や雑誌を見て居ると各種の自動車学校や自動車練習所等の廣告が幾十となく數へ切れぬ程種々な方法で宣傳して學生を募集して居るのを見受ける此廣告を田舎に居る血氣盛りの湧心勃勃とした青年諸君最も純なる青年諸士が見ると忽ち肉躍り血湧き忽ち一攫千金の夢を見て若干の資金を携へて父祖傳來の立派な着實なる職業を打ち捨て、東京や大阪さして自動車学校に或は練習所に身を入れるのである此れが抑もの誤りの出發點である吾々はよくよく考へて見るがよい現在は大學校を六年も七年も莫大な學資を投じて卒業した學士でさへも最初は五十圓か六十圓位しか月給が取れないのである、それに比較的教育も少い田舎出の僅か十八歳か廿歳の青年か短日月の間に忽ち百圓も二百圓も月収が取れるとは餘りに虫のよすぎる話である。

實際自動車學校を卒業した處で直ちに甲種運転手の試験に合格するものは百人中二三人しかなく他は皆今迄の豫想を裏切られて了ひ特別意志の鞏固なもの外は比較的挫折し遂には數多きものの中には自暴自棄にさへ陥るものが少くないのである。

勿論何れの廣告にしても悪い廣告するものは一つもない皆仲々甘いこと許りを連ねて純な青年を誘ふのであるから餘程警戒して見ぬととんでもない失敗に終るのである。

現在吾人の如く長年東京に住んで随分自動車界の各方面に明るいものが此連日の廣告を見るのならば間違いはないが地方の諸氏は當底そうはゆかぬのである新聞廣告が規則書位が唯一のたよりなのであるから己むを得ぬ。

が然し實際各練習所や自動車學校等の内容を詳しく調査して見ると随分如何がはしいものが澤山ある。



私をして之等の學校を露骨に評せしめれば私は最も暴利的の營利會社であると言ひた位である即ち現在自動車營業は非常な不景氣である所から所謂營業に依り料金を得る代りに學校若しくは練習所の美名の下に學生より高い自動車の貸賃料を絞り取るの目的なのである誠心誠意立派な教育を施そうといふ様な學校や練習所は稀なのである。

その事實を知らないで地方で新聞や雑誌を見られたる青年諸氏が學校の規則書でも取り寄せると實に立派な規則や目的が記載されてあつて大抵の諸君は之れに目が暈んで知らず知らずの内に深みに陥つて失敗して行くのである。

だから諸君が此種の廣告を見る時には其半分以下に考へて批評眼を以つて之れを見ぬと、とんだひどい目にはあはなくてはならないのである私は常に此美名の下に有爲の青年を失敗の淵に導く營利的惡學校若しくは惡練習所は寧ろ人を欺いて遊里に

誘惑するものよりも更に其罪は大であると思ふ、即ち純なるパンの爲めに努力せんとする青年をして失敗の悲境に陥らしむるものであるからである。

此種の學校或は練習所に對しては社界が擧つて大いに驅逐せねばならぬと私はたへず考へて居るのである

尙現在我國に於ける自動車教育の最大の權威とも言ふべきは陸軍の自動車隊であつて之れは全く利害關係を離れて徹底的に教育指導されるのであるから到底民間自動車學校の遠く及ぶ所でないが只誰でも入つて研究し得る所でないから暫く論を措いて目下都下に於いて公認自動車學校中比較的其成績の優良なるものにつきて規則の大要を記述すれば左の如くである尙詳しき事は直接學校に照會されよ。

一 帝國自動車學校に就きて



公認 帝國自動車學校學則 大正十三年五月改正

名譽校長子爵 秋元春朝

校長陸軍少佐 水谷吉藏

第一章 總則

第一條 本校ハ自動車ニ關スル學術ヲ教授シ並ニ其ノ技術ノ蘊奧ヲ攻究スルヲ以テ目的トシ兼テ人格ノ陶冶ニ努ム

第二條 本校ハ研究科、高等科、本科、速成科、術科專修科及受験準備科ヲ以テ構成ス

研究科ハ自動車學術ノ蘊奧ヲ研究ス  
高等科ハ高等自動車學術ヲ教授ス

本科ハ一般自動車學術ヲ教授ス

速成科ハ短期教育ニ依リ自動車學術ヲ修得セシム

術科專修科ハ自動車操縦術又ハ工術ノミヲ專修セシム

受験準備科ハ警視廳又ハ各地府縣廳運轉手受験者ノ爲專ラ受験準備教育ヲ行フ

第一章 研究科

第三條 研究科ハ入學期ヲ定メス隨時入學セシム

第四條 本校卒業業者及自動車所有者ハ研究員タルコトヲ得其ノ他ノ者ハ學歷ニ應シ研究程度ヲ定ム

第五條 研究科ハ通常六ヶ月乃至三ヶ年在學スルモノニシテ六ヶ月乃至一ヶ年在學者ヲ普通研究トシ一ヶ年以上研究ヲ繼續スルモノヲ高等研究科トス

第六條 研究員ノ指導ハ校長又ハ校長ノ指定シタル職員之ヲ擔任ス

第七條 研究員ハ校長ノ承認ヲ經テ高等科本科又ハ速成科學術ノ講義又ハ實習ニ隨時出席スルコトヲ得(課目及時間ハ當該各科ニ準ス)



第八條 研究員ハ時々研究会ヲ開キ其ノ學術ノ蘊奥ヲ研究ス

第九條 研究科ノ研究費ハ一ヶ月拾五圓トス但シ自動車ヲ有セサル研究員ニシテ實習ヲ爲スモノハ毎月實習貳拾五圓ヲ前納スルモノトス又研究費ハ本人希望ニ依リ毎月之ヲ分納スルコトヲ得

第十條 本校高等科本科速成科卒業者ハ研究費ヲ要セス但シ實習ヲ爲スモノハ所要ノ實習費ヲ納ムルヲ要ス

### 第二章 高等科

第十一條 高等科ノ入學期ハ毎年四月一日及十月一日トシ在學期ハ一ヶ年トス但シ希望ニ依リ更ニ一ヶ年ヲ延長スルコトヲ得

第十二條 高等科ノ學術課程左ノ如シ

課目	全授業時數	每週授業時間
倫理及法制經濟	四八	一

高等學	數學	英語學(英語)	電氣學	機械學	自動車學	自動車工術	設計及製圖	自動車操縱術	自動車檢查法	燃料脂油學及檢查法	發動機及材料試驗	自動車術教育法	自動車操縱手試驗方法	計
一四四	九六	一四四	一四四	一四四	二八八	一四四	一四四	四八〇	一四四	一四四	一四四	一四四	一七二八	
三	二	三	三	三	六	三	三	〇	二	三	三	三	三六	



摘要

隨意選擇科目トシテ特ニ本表ノ外左ノ學科ヲ教授ス  
 一、工業經濟 每週平均二時間  
 二、簿記計算學

第十三條 高等科入學者ハ本校本科卒業者及中學校卒業又ハ之ト略ホ同等ノ學識ヲ有スルモノニ限ル

第十四條 高等科ノ入學金ハ拾圓トシ授業料ハ一ヶ月拾五圓トス但シ本校本科卒業生ハ入學金ヲ要セス

第十五條 高等科學生ハ實習費トシテ毎月參拾圓ヲ前納スルモノトス但シ本校本科卒業者ニシテ其ノ操縱技術優等ノモノハ實習費ヲ免除ス

第四章 本科

第十六條 本科ノ入學期ハ每年四月一日及十月一日トシ。在學期ハ一ケ年トス  
 第十七條 本科ノ學術課程左ノ如シ

科目	全授業時數	平均每週授業時間
倫理及法制經濟	四八	一
數學及理化學	一四四	三
機械學	一四四	三
電氣學	一四四	三
自動車學	一九二	四
語學(英語)	九六	二
漢文及國語	四八	二
設計及製圖	七二〇	一五
基本自動車術(第一學期)	九六	二
應用自動車術(第二學期)	九六	二
自動車分解及結合		
自動車工術		
自動車保存取扱法		



燃 料 脂 油 學	四 八
自 動 車 ニ 關 ス ル 法 規	一
計	一 七 二 八
要 摘	三 六
一、第一學期及第二學期各六ヶ月トス	
二、基本自動車術ハ第一學期ニ於テ應用自動車術ハ第二學期ニ於テ實施ス其ノ他ノ課目ハ全學期ヲ通シテ實施スルモノトス	
三、科外講義トシテ歐米自動車ノ大勢竝ニ自動車史ヲ教授ス	

第十八條 本科入學者ハ尋常小學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學識アリト學校長ノ認メタルモノニ限ル但シ第二學期入學者ハ本校速成科卒業者及各府縣當局運轉手免許證ヲ有スルモノ竝學校長ノ適當ト認メタルモノニ限ル

第十九條 本科ノ入學金ハ參圓トシ授業料一ヶ月拾圓トス但シ夏期休業期ハ授業料ヲ徵收セス

第二十條 本科生徒ハ當分ノ内實習費トシテ毎月貳拾五圓ヲ前納スルモノトス夏

期休業期ハ本人ノ希望ニヨリ實習スルモノノ外實習費ヲ徵收セス

第五章 速成科

第二十一條 速成科ノ入學ハ通常每月初旬トシ在學期ハ三ヶ月トス但シ本人ノ希望竝ニ素養ニ依リ二ヶ月又ハ一ヶ月ニ短縮スルコトヲ得

第二十二條 速成科ノ學術課程左ノ如シ

科 目	全 授 業 時 數	平 均 每 週 授 業 時 間
倫 理 及 自 動 車 法 規	一 二	一
機 械 學	三 六	三
電 氣 學	四 八	四
自 動 車 學	九 六	八
自 動 車 操 縱 術	二 一 六	一 八
自 動 車 工 術	二 四	二
自 動 車 取 扱 保 存 法 並 分 解 結 合	四 三 二	三 六
計	四 三 二	三 六



第二十三條 速成科入學金ハ參圓トシ授業料一ヶ月拾圓トス（三ヶ月分參拾圓）但シ二ヶ月又一ヶ月速成希望者ハ其日額ノミヲ前納スルモノトス

第二十四條 速成科生徒ハ當分ノ内實習費トシテ七拾五圓（三ヶ月分）ヲ前納スルモノトス

速成科三ヶ月教育ノ末期ニ入學シ一ヶ月又ハ二ヶ月修習セントスル中途入學者ニ在リテハ其ノ月額ノミヲ前納スルコトヲ得

第二十五條 學科專習希望者ハ毎月聽講費拾圓ヲ前納スルノ外何等ノ學資ヲ要セサルモノトス但シ速成科全學術ヲ修業シタルモノハ本人ノ希望ニヨリ何等ノ學資ヲ納ムルコトナク引續キ學科ヲ聽講スルコトヲ許可ス

第二十六條 速成科ハ滿十四歳以上ニシテ尋常小學校卒業者又ハ之ト同等以上ノ學識アリト學校長ノ認メタルモノニ入學ヲ許可トス

### 第六章 術科專習科

第二十七條 術科專習科ハ修業期間ヲ一ヶ月トシ主トシテ操縦術ヲ學習スルモノトス

ス

第二十八條 術科專習科ハ自動車學ノ素養アルモノニ限り入學ヲ許可ス

第二十九條 術科專習科ハ入學金五圓並ニ實習費七拾五圓ヲ前納スルモノトス

### 第七章 受験準備科

第三十條 受験準備科ハ修學期限ヲ定メス其ノ課目及授業時間速成科ニ準ス

第三十一條 受験準備科ハ主トシテ操縦術ヲ教育スルモノニシテ學科ハ希望ニヨリ隨意選擇聽講セシム

第三十二條 受験準備科ハ入學金五圓及日々授業料（壹圓）及實習費（六圓）ヲ前納シ又ハ本人ノ希望ニヨリ修學日數ヲ概定シ之ニ應スル學資金ヲ前納スルモノトス但シ學科又ハ術科ノミヲ專習スルモノハ授業料又ハ實習費ノミヲ納ムルモノトス

第三十三條 受験準備科生ニシテ特ニ連續長時間操縦ノ希望者ニ在リテハ其ノ時間ニ相當スル實習費ヲ前納スルモノトス但シ實習三十分ヲ以テ一回ト算シ六圓ヲ以



テ一回ニ相當スル實習費ト定ム

第三十四條 受験準備者ノ爲ニ特ニ個人教授ヲ行フ場合ニ於テモ前條ニ準スルモノトス

### 第八章 試験茲課定修了ノ認定

第三十五條 試験ハ毎學期又ハ毎學年ノ終ニ於テ其學期又ハ其學年中ニ履修シタル

科目ニ就キ之ヲ行フ但シ術科專習科及受験準備科ハ試験ヲ行ハス

第三十六條 試験ニ及第セザリシ者又ハ試験ヲ受ケザリシ者ハ希望ニヨリ更ニ試験

ヲ受クルコトヲ得但シ術科ノ再試験ヲ受クル者ハ受験料五圓ヲ前納スルヲ要ス

第三十七條 全學期休學シタルモノハ試験ヲ受クルコトヲ得ス

第三十八條 卒業試験ニ及第セルモノニハ卒業證書ヲ授與ス

第三十九條 試験ヲ完了セスシテ退校スルモノニハ其履習シタル科目ニ就キ證明書

ヲ與フルコトアルヘシ

第四十條 試験ノ成績ハ各科目百點ヲ以テ滿點トシ及第者ト認ムルニハ各科目四

十點（操縦術ハ六十點）以上全科目平均六十點以上ヲ得ルコトヲ要ス

### 第九章 休業日

第四十一條 研究科術科專習科及受験準備科ハ休業日ヲ定メス特ニ日曜、祭日、年

末休暇、夏季休暇等ノ時機ヲ利用セントスル研究員又ハ其ノ他ノ生徒ハ隨時登校

シ研究又ハ實習ニ従事スルコトヲ得但シ四方拜元始祭及本校創立記念日ハ特別ノ

場合ノ外全員休業スルヲ例トス

第四十二條 高等科、本科及速成科ノ休業日左ノ如シ但シ速成科ニ限り夏期休業ヲ

行ハサルモノトス日曜日、大祭日、年末及年始（自十二月廿八日）夏期（自八月一日）

及本校創立記念日

### 第十章 入學、休學、退學、除籍並懲戒

第四十三條 入學志願者定員ヲ超過スルトキハ願書順ニ從ヒ入學セシム過剩人員ハ



翌月入學志願者ニ先チ之ヲ入學セシム

第四十四條 入學志願者ハ左ノ様式ニ據リ入學願書ヲ提出スヘシ

入學願書ニハ履歷書ヲ添附スヘシ

入學願書(用紙半紙)

私儀御校何科(何學期)へ入學志願ニ付御許可被成下度別紙履歷書相添へ此段相願候也

原籍

現住所

族籍

年 月 日

氏

年 月

名印  
日生

帝國自動車學校長

殿

第四十五條 入學ノ許可ヲ受ケタルモノハ保證人ヲ立テ左ノ書式ニ依リ在學證ヲ提出スヘシ但シ無試験入學資格ヲ有スルモノハ入學願出ト同時ニ在學證書ヲ提出スヘシ保證人ハ父兄親族又ハ東京附近居住者ニシテ身元確實ナル能力者タルヲ要ス

在學證

(用紙半紙)

本人保證  
捺印 人捺

參錢

收入印紙

私儀今般御校へ入學許可相成候ニ就テハ在學中御規則堅ク相守リ可申仍而證書如此候也

原籍

現住所

族籍

氏

年 月

名印  
日生

右在學中本人ニ依ル一切ノ事件ヲ引受クル爲保證仕候

原籍

現住所

帝國自動車學校學則



族籍 本人トノ關係

保證人

氏

名印

帝國自動車學校長

殿

第四十六條 生徒ニシテ疾病又ハ其ノ他ノ事故ニ因リ一ヶ月以上修學ヲ中止セントセルトキハ校長ノ許可ヲ得テ休學スルコトヲ得但シ此ノ休學者ハ事故回復後休學日數ニ應スル補缺教育ヲ受クルコトヲ得

第四十七條 退學セントスルトキハ其ノ事由ヲ具シ保證人又ハ保證者ノ連署ヲ以テ校長ノ許可ヲ受クヘシ但シ病氣ノ時ハ醫師ノ診斷書ヲ添附スルコトヲ要ス

第四十八條 生徒ニシテ品行修マラス又ハ學術ヲ懈怠シ其ノ他秩序ヲ紊シ風紀ヲ害スル虞アリト認ムルトキハ校長ハ職員會議ニ附シ所要ノ懲戒ニ處ス  
懲戒ハ之ヲ三ニ別ツ

- 一、譴責
- 二、停學
- 三、放校

第四十九條 各學期又ハ月ノ始ニ所要ノ學資金ヲ前納セサルモノハ修學又ハ實習ヲ停止セシム

第五十條 既納ノ學資金及實習費ハ事由ノ如何ヲ問ハス之ヲ返還セサルモノトス

第十一章 稱號賞及徽章

第五十一條 本校研究科卒業者ハ其ノ卒業者ノ社會的地位及資格ニ應シ本校名譽評議員又ハ名譽研究員ノ稱號ヲ贈リ永久ニ本校自動車研究者同人トシ本校名譽職員トシテ之ヲ推薦ス

第五十二條 研究科高等科及本科卒業者中成績優等ノモノニハ表彰狀ヲ授與ス

第五十三條 研究員ハ凡テ其ノ名譽ヲ表彰スル爲特別ノ記章ヲ附ス

第十二章 職員ノ職務

第五十四條 本校ニハ職員トシテ校長一名、講師及事務員若干名ヲ置ク其ノ職務左ノ如シ

校長ハ學術教育其ノ他一切ノ校務ヲ總理ス

講師ハ校長ノ命ヲ受ケ生徒ノ學術科ヲ教育ス



最も容易に自動車運転手になる法

事務員ハ校長ノ命ヲ受ケ庶務、人事、會計ノ事ヲ行フ

### 第十三章 附 則

第五十五條 大正十一年度規定ニ依ル卒業者ニ對シテハ第十八條但シ書ノ規定ヲ準

用ス但シ十一年度規定ニ依ル速成科ハ本規定ノ受験準備科ニ該當スルモノトス

第五十六條 本校寄宿舎規則ハ別ニ之ヲ定ム

第五十七條 本校職員名譽講師名譽評議員及名譽研究員ヲ以テ研究部ヲ組織シ本校

々長ヲ以テ幹事長トシ講師ヲ以テ幹事トシ自動車ニ關スル一切ノ研究並専門技術

ノ研究ニ從フモノトス

第五十八條 本校研究部ニ於テ研究スル事項概ネ左ノ如シ

- 一、歐米各國自動車ノ研究
- 二、最新自動車設計及構造ノ研究
- 三、自動車ニ關スル制度ノ研究
- 四、自動車ノ獎勵保護發達ニ要スル諸般ノ研究

五、自動車學術教育法ノ研究

六、自動車ノ使用保存及取扱検査法ノ研究

七、自動車用材料ノ研究

八、自動車取締法及其ノ他諸法規ノ研究

九、自動車運轉手試験法ノ研究

十、特種自動車ノ操縦取扱ノ研究

十一、其ノ他自動車學術ノ研究

十二、一般交通機關ト自動車トノ關係ニ就テノ研究

第五十九條 校長ハ本則施行ニ要スル細則ヲ定ムルコトヲ得

### 學 資 に 就 き て (毎月一日新學期開始)

一、速成科三ヶ月卒業(甲種運轉手養成)

學 資 入學金參圓 授業料參拾圓 實習費七拾五圓 計百〇八圓(三ヶ月分)



右尋常小學校卒業者ニ無試験入學許可ス

二、乙種二ヶ月速成修業科

學 資 入學金 參圓  
授業料 貳拾圓  
實習費 五拾圓 計七拾參圓

右尋常小學校卒業者ニ試験入學許可ス但シ乙種一ヶ月速成修業科ハ初歩者ヲ導イテ二ヶ月教育程度ニ達セシムルモノナルヲ以テ本人ノ希望ニヨリ更ニ一ヶ月在學セントスル一ヶ月分學費ヲ納入スルヲ要ス

三、甲種一ヶ月速成科

學 資 入學金 參圓  
授業料 拾圓  
實習費 參拾圓 計四拾參圓

但シ甲種一ヶ月速成科編入者ハ三ヶ月速成科ノ末期ニ編入スルモノナルヲ以テ自動車學術素養試験ノ上採用ス此ノ試験ニ不合格シタルモノハ希望ニ依リ二ヶ月速成科ニ編入スルコトヲ得

四、甲種二ヶ月速成科

學 資 入學金 參圓  
授業料 貳拾圓  
實習費 五拾五圓 計七拾八圓

但シ甲種二ヶ月速成科編入者ハ三ヶ月速成科ノ第二ヶ月目ニ編入スルモノナルヲ以テ自動車學術素養試験ノ上採用ス

- ◎速成科申込期限毎月末日限リ入學願書及履歷書提出ノコト但シ甲種一ヶ月及甲種二ヶ月速成科ニ限リ毎月末日午前九時入學試験ヲ行フ
- ◎其他學則ニ定ムル通りトス

一 寄宿舎に就きて

寄宿舎ハ何時ニテモ入舎スルコトヲ得  
寄宿費ハ一ヶ月貳拾貳圓也  
但シ月末又ハ中途ニ入舎シタル者ハ日割勘定ノコト

二 日本自動車學校に就きて

日本自動車學校學則

第一章 目的、學期、休日



**第一條** 本校ハ自動車ノ操縦設計製作並ニ飛行機及發動機ノ設計製作操作ニ關スル學理技術ヲ授クルヲ以テ目的トス

**第二條** 自動車ニ關スル教科ヲ速成科及本科、飛行機ニ關スル教科ヲ航空科及高等航空科トシ修業期限ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、速成科 二箇月卒業

二、本科 四箇月卒業（速成科卒業後二箇月間修業）

三、航空科 四箇月卒業

四、高等航空科 八箇月卒業（航空科卒業後四箇月修業）

入學期日ハ速成科及本科ハ毎月一日（一月ニ限リ八日）トシ航空科及高等航空科ハ每奇數月十日トス 但臨時入學ヲ許可スルコトアルベシ

**第三條** 休業日ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、大祭祝日 二、日曜日 三、本校創立記念日

四、學期末五日間 五、年末年始（十二月二十九日ヨリ翌年一月五日ニ至ル）

### 第一章 學科及課程

**第四條** 學科ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、速成科及本科

修身 數學 理化學 電氣學 機械學 發動機學 構造學 操縦法 修理法

二、航空科及高等航空科

修身 數學 理化學 電氣學 機械學 發動機學 構造學 操縦學 氣象學

地理 設計製作法 發動機操作法 操作法 自動車操縦法

**第五條** 學科課程及每週授業時間別表（二十頁二十八頁）ノ如シ

### 第三章 入學及退學

**第六條** 速成科入學者ハ年齡十四年以上ニシテ尋常小學校卒業者又ハ之ト同等ノ學力アルモノトス

本科入學者ハ年齡十四年以上ニシテ速成科卒業者又ハ之ト同等ノ實力アルモノトス

航空科入學者ハ年齡十四年以上ニシテ尋常小學校卒業者又ハ之ト同等ノ學力アル



モノトス  
高等航空科入學者ハ年齢十四年以上ニシテ航空科卒業者又ハ之ト同等ノ實力アル  
モノトス

**第七條** 入學志願者ハ左ノ書式ニ依リ入學願書履歷書及誓約書ヲ差出スベシ  
保證人ハ入學者ノ父母尊屬又ハ之ニ代リテ監督ノ責ニ任ズベキモノトス

(附録印刷用紙又ハ半紙ニ記入捺印セヨ)

入學願書	
本籍	氏名
現住所	生年月日
右者御校(速成科、本科、航空科、高等航空科)へ入學致度候 間御許可被下度別紙履歷書及誓約書相添へ此段相願候也	
年 月 日	右 氏 名印
日本自動車學校長 相羽 有殿	

履歷書	
本籍	氏名
現住所	生年月日
一、何年何月何地何學校卒業 一、何々	
右之通相違無之候也	
年 月 日	右 氏 名印

誓約書	
三錢入印	本籍
印紙	現住所
入學者 氏名	
生年月日	
右者今般御校へ入學許可相成候ニ就テハ御規則堅ク相守ラシム ベキハ勿論在學中同人身上ニ關スル一切ノ事件ハ拙者ニ於テ引	



最も容易に自動車運転手になる法

九八

受ケ御命令ニ遵ヒ處理可致候仍テ誓約書差出候也  
年 月 日

現住所  
職業

日本自動車學校長 相 羽

保證人 氏  
有殿

名印

第八條 退學セントスル者ハ保證人連書ヲ以テ其ノ事由ヲ詳記シ退學願書ヲ差出ス  
ベシ

### 第四章 試験及卒業

第九條 學業試験ハ各科修了ノ時之ヲ行ヒ各科目百點ヲ滿點トシ各科目五十點以上  
總科目平均六十點以上ヲ合格トス

第十條 學業試験合格者ニハ左ノ證書ヲ授與ス

校印	卒業證書	氏 名
	府縣族籍	生年月日
右本校所定ノ（速成科、本科、航空科、高等航空科）ヲ卒業セ リ仍テ之ヲ證ス		
年 月 日	日本自動車學校長 相 羽	有印

### 第五章 學 費

第十一條 學費ヲ定ムルコト左ノ如シ

一、入學金 金 五 圓也  
二、授業料 金 拾 圓也（一箇月分）

（速成科） 金 九 拾圓也（二箇月分）  
（本科） 金 八 拾圓也（二箇月分）

帝國自動車學校學則

九九



三、實習費 航空科 金百五十圓也 (四箇月分)  
 高等航空科 金八十圓也 (四箇月分)  
 速成科卒業後本科ニ入學ル者及航空科卒業後高等航空科ニ入ル者ニハ入學金ヲ免  
 除ス

速成科 (二箇月卒業全部ノ費用)	
一、入學金	金五圓也
二、授業料	金貳拾圓也 (二箇月分)
三、實習費	金九拾圓也 (二箇月分)
合	金百五十圓 (前納)
本科 (速成科卒業後二箇月修業全部ノ費用)	
一、入學金	金五圓也 (速成科卒業後ハ之ヲ免除ス)
二、授業料	金貳拾圓也 (二箇月分)
三、實習費	金八拾圓也 (二箇月分)
合	計金百〇五圓也 (前納)
航空科 (四箇月卒業全部ノ費用)	
一、入學金	金五圓也

高等航空科 (航空科卒業後四箇月修業全部ノ費用)	
一、入學金	金五圓也 (航空科卒業後ハ之ヲ免除ス)
二、授業料	金四拾圓也 (四箇月分)
三、實習費	金八拾圓也 (四箇月分)
合	計金百貳拾五圓也 (前納)

第十二條 入學金授業料實習費ハ之ヲ前納トス  
 第十三條 既納ノ入學金授業料及實習費ハ何等ノ事由アルモ返還セズ

### 第六章 賞 罰

第十四條 品行方正ニシテ學力優秀ナル者ニハ褒賞ヲ與フ  
 第十五條 學校長ハ教育上必要ト認ムル時ハ生徒ニ左ノ懲戒ヲ加フルコトヲ得  
 一、戒飭、怠慢ニシテ自ラ過ヲ覺ラザル者ニハ戒飭ヲ加ヘテ反省セシム 二、謹



慎、怠慢不謹慎ニシテ他ニ迷惑ヲ及ボス者ニハ時日ヲ定メテ謹慎ヲ命ジ自ラ過失ヲ悔悟セシム 三、退學、本校生徒タルノ本分ニ背キ若クハ本校ノ名譽ヲ傷クル者ニハ退學ヲ命ズ 四、除名 怠慢ニシテ成業ノ見込ナク又ハ無届缺席一箇月以上ニ及ブ者ハ學籍ヲ除ク

### 日本自動車學校外生規則

- 一、目的 本校ハ直接通學シ得ザルモノノタメニ校外生ヲ置キ通信教授ニヨリ、自動車操縦法、竝ニ自動車ノ修理取扱法ニ關スル學理ヲ教授ス
- 二、教科 校外生ノ履修スベキ學科ヲ左ノ八科トナス
  - 自動車構造學
  - 自動車發動機學
  - 自動車點燈始動法
  - 電氣學
  - 自動車操縦術
  - 機械學
  - 自動車着火法
  - 自動車修繕法
  - 自動車取締規則

三、期間 校外生修業期間ヲ六箇月トシ、毎月一回、前記學科講義録ヲ送付シテ學修セシム

四、速成 六箇月以内ニ於テ前記課程ノ修了ヲ望ム者ニハ特ニ講義録ヲ取纏メテ送付ス

但シ速成修了ヲ望ムモノハ教授料三箇月分又ハ六箇月分ヲ前納スベシ

五、入學 校外生ハ何人モ隨時入學スルコトヲ得

六、手續 入學志願者ハ左式ニ從ヒ入學願書ヲ本校ニ差出スベシ

但シ用紙ハ振替貯金用紙裏面通信欄又ハ半紙ヲ用フ

#### 入學願書

今般御校々外生トシテ入學致度入學金竝ニ教授料何箇月分相添此段申込候也

年月日 (縣郡市)(町村) 番地

何

某印

日本自動車學校長 相羽 有殿

入學金 金貳圓也



教授料 金何圓何拾錢也但何箇月分  
右相添候也

七、學費 校外生教授料並ニ入學金左ノ如シ

一、入學金 …… 金 貳 圓 也

一箇月前納 金 貳 圓 也

一、教授料 三箇月前納 金五圓七拾錢也

六箇月前納 金拾壹圓也

但シ半途退學其他何等ノ事由アルモ既納ノ入學金及教授料ハ返附セズ

八、學習 規定入學金及ビ授業料ト共ニ入學願書ヲ提出セルモノハ直ニ本校々外生

トシテ學生名簿ニ登錄シ本校學生徽章並ニ講義録ヲ送付シ學習セシム

九、質問 校内生ト等シク本校規定ノ徽章ヲ佩用實習ノ見學並ニ疑義ノ質問ヲ爲ス

コトヲ得

十、卒業 講義録全部六卷ヲ終了シタル者ニハ希望ニ從ヒ卒業試験ヲ課シ本校規定ノ卒業證書ヲ授與ス

十一、特典 校外生ハ本校規定ノ帽章及ビ制章(洋服鉛)ヲ附スルコトヲ得、校外

生卒業者ハ實習科(一箇月卒業)ニ無試験入學ヲ許可シ、各種自動車ノ運轉取扱

法ヲ習得セシム、校外生實習科卒業者ハ、校内生卒業者ト同等ノ待遇ヲ與フ

十二、附則 送金ノ方法ハ本學則卷末添附ノ振替貯金用紙ニ記入シ、入學金及ビ教

授料ヲ郵便局ニ拂込ムベシ、又郵便爲替ニテ拂込ムトキハ受取人ヲ『日本自動車

學校』トシ、拂渡局『蒲田局』ト指定スベシ、海外ヨリ申込ムトキハ郵便爲替又

ハ銀行手形ニテ送金シ、英文和文兩様ニテ住所氏名ヲ明記セラレタシ

在學中住所ヲ轉ジ氏名ヲ改メタルトセハ新舊住所氏名ヲ明記シテ通知アリタシ

## 日本自動車學校實習科規則

一、目的 校外卒業生ノ爲メニ一箇月卒業ニテ自動車運轉術ヲ修得セシム

二、期間 毎月十五日ニ新學期開始シ翌月十三日ニ卒業セシム

但シ希望ニヨリ隨時入學セシムルコトアルベシ

三、資格 校外生ニシテ卒業シタルモノニ限り入學ヲ許可ス即チ本校發行自動車講



義録全六卷ヲ讀了シ校外生通信試験ニテ卒業證書ヲ授與セラレタルモノヲ有資格者トシテ入學ヲ許可ス

四、手續 入學希望者左ノ書式ニ依リ願書履歷書及誓約書ヲ差出スベシ、但シ入學願書、履歷書、誓約書ハ學則ノ卷末ニ添附シタル用紙ニ記入捺印セラルベシ

入學願書

本籍地  
現住所

氏名

生年月日

右者御校々外生實習科へ入學致度候間御許可被下度別紙履歷書  
相添へ此段相願候也  
大正 年 月 日

右

氏名印

日本自動車學校長  
相羽 有殿

履歷書

本籍地  
現住所

氏名

生年月日

一、何年何月何地何學校卒業  
右之通相違無之候也  
大正 年 月 日

右

氏名印

五、卒業

校外生ニシテ實習ヲ修了シタルモノニ試験ノ上卒業證書ヲ授與ス

六、學費

教授料及ビ實習費トシテ左ノ如ク前納スルモノトス  
金九十圓也

實習費及ビ教授料

此實習費ハ自動車ヲ運習實費セシムル一般ノ費用ニシテ右ノ以外本校ハ何等ノ費



- 用ヲモ徴集セズ、但シ如何ナル事由アルモ既納ノ學費ハ返還セザルモノトス
- 七、特典 校外生ニシテ實習科ヲ卒業シタルモノハ本校科業生ト同一ニ待遇シ諸般ノ便宜ヲ與フ、其他ハ本校學則ヲ適用ス
- 八、参照 入學シ來校セントスルトキハ本學則六頁ヨリ十四頁マデヲ熟讀シテ入學手續ヤ學費拂込ミノ注意ヲ知ラルベシ

## 第四章 運転手及運転手志願者に關係ある諸法

### 規の概要

#### 一出願及願書の様式に就きて

- 1 運転手たらんとする者は主たる就業地の地方長官に願出で其免許を受くべし  
免許を與へたる時免許證を交附す。  
運転手免許證は甲乙の二種とし甲種免許證を有する運転手は各種自動車を運転することを得乙種免許證を有する運転手は特定又は特種の自動車に非れば之れを運転することを得ず（内務省自動車取締令第十五條）
- 2 取締令第十五條に依る運転手の願書には左の事項を具備するを要す。  
(一) 本籍、住所、氏名、生年月日

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

(二) 履歴書及戸籍抄本

(三) 写真(手札形半身無臺紙)二枚

前項第一號の事項に變更を生じたる時は五日以内に届出て免許證の訂正を受くべし(警視廳自動車取締令施行細則第三十條内務省自動車取締令)

3 出願資格

運転手免許證は試験に合格し左の各號の一に該當せざるものに之れを與ふ。

一、十八歳未満のもの

二、精神病者、聾者、啞者又盲者

三、其他地方長官の不適當と認むるもの運転手の試験は地方長官の定むる所に依り自動車の構造、取締規則及實地の技能に關して之れを行ふ(第六條内務省自動車取締令第十六條)

4

願書及履歴書の様式例

運転手免許證下附願

本籍地

現住所

姓

年 月 日 生 名

一、甲(乙)種

右自動車運転手免許證御下附相成度別紙履歴書戸籍抄本並に寫真相添此段相願候也

右

大正 年 月 日

姓

名印

警視總監(府縣知事)某 殿

履 歷 書

最も容易に自動車運転手になる法



本籍地  
現住所

姓 名

一、何年 月 日 某小學校入學何年卒業

年 月 日 生

一、其他學歷を記す

一、職業の經歷を記す

賞

罰

右之通り相違無之候也

大正 年 月 日

右

姓

名印

## 二 試験に關する法規

1 運転手の試験は地方長官の定むる所に依り自動車の構造取締規則及實地の技能に關し之れを行ふ(警視廳自動車取締規則第十六條)

2 運転手の試験は日時場所を指定し呼出狀を發す。  
前項の呼出に應じ自動車を運轉して指定の場所に往復する場合は呼出狀を携帶すべし。(警視廳自動車取締規則第三十一條)

3 實際 出願をすると一週間以内位の間に試験に關する指定が各人に參りますから其れに依つて行動すればよい。  
地方に依つて實科を先きに試験する所と學科を先きに試験する所とあります。現在警視廳では實科を先きに試験し其合格者に丈け學科試験をするのである。

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運転手になる法

一一四

學科試験は一度失敗しても續いて二回受けられますが實科試験に失敗すると三ヶ月後でなければ更に受験することが出來ぬ規定であります。

### 三 就業地變更せし場合の處置

- 1 運転手其主たる就業地を變更したるときは五日以内に免許證の寫を添へ就業地の地方長官に届出づべし（内務省自動車取  
締令第二十條）
  - 2 就業地變更の届出を受けたる場合に於いて當該地方長官は必要と認むる時は内務省自動車取締令第十六條第二項に依り試験を行ふことを得。  
前項試験に合格せざる時は其道府縣内に於ける就業を停止することを得（内務省白  
令第二十一條）
- 現在警視廳に於いては前記試験を實施して居る。

- 3 内務省自動車取締令第二十條に依る就業地變更の届書には左の事項を具備するを要す。

一、本籍、住所、氏名、生年月日  
二、寫眞（手札形半身臺無し紙）二枚  
前項第一號の事項に變更を生じたる時は五日以内に届出で免許證の訂正を受くべし。

### 四 免許證の取扱につきて

- 1 免許證の保管  
運転手免許證は就業中之れを携行すべし（内務省自動車取  
締令第十七條）
- 2 免許證紛失又は毀損の場合の處置

最も容易に自動車運転手になる法

一一五



自動車運転手免許證を滅失又は毀損したる時は其交附を地方長官に願出すべし。

(内務省自動車取  
締令第十八條)

3 免許證を返納すべき場合

左に掲ぐる場合に於いては運転手は遲滞なく免許證を返納すべし。

(一) 内務省自動車取締令第二十七條(罰則)に依り免許の取消又は就業を停止せられたるとき。

(二) 免許證の有効期間を経過したる時

運転手死亡又は行衛不明となりたる時は其雇主、戸主又は家族に於いて前項の手續を爲すべし(内務省自動車取締令第十九條)

4 免許證の書換又再下附

現に運転手たるものにして運転手免許證有効期間満了の後仍ほ引續運転手たらん

とする者に付きては前條第一項(内務省自動車取締令)各號の一に該當せず且つ相當技倆ありと認めたる者に限り前條の試験に拘らず試験の全部又は一部を省略し免許を與ふることを得(内務省自動車取締令第十六條の二)

取締令第十九條又は前條第二項に依り期間満了の爲め返納したる免許證は其期間満後に請求に依り再び之れを交附すべし(警視廳自動車取締令施行細則第三十六條) 免許證の有効期間は通常五ヶ年間とす。

五 禁令及刑罰に關する件

1 禁令

自動車の運転手の免許を受けざるものは自動車を運転することを得ず(内務省自動車取締令) 若し此禁令を犯す場合には或期間内の受験を禁止され且つ相當の罰金又は

最も容易に自動車運転手になる法



科料を科せらる。

2

懲罰

(イ) 地方長官は左の各號の一に該當する時は運転手の免許を取消し又は其就業を停止することを得

(二) 自動車に依り人を傷害し又は物件を損壞したる時

(三) 取締令第十六條第一項第二號又は第三號に該當するに至りたる時

(四) 本令又は本令に基き發する命令に違反したるとき (内務省自動車取締令第二十七條)

(ロ) 第八條第十二條、第十三條、第十五條第一第二項、第二十五條の規定に違

反したるもの又は第九條第一項、第二十六條及第二十七條に基く地方長官

の處分に違反したるものは三月以下の懲役若は禁錮又は百圓以下の罰金若

は拘留又は科料に處す (内務省自動車取締令第二十八條)

(ハ) 過失に依り前條 (省令第二十八條) の罪を犯したる者は拘留又は科料に處す (内務省自動車取締令第二十九條)

(ニ) 故意又は過失に依り第五條第四項、第六條第七條、第九條第二項、第十條

第十一條、第十四條第十七條、第十九條、第二十條、第二十二條乃至第二十

四條の規定又は第二條第二十一條第二項に基く地方長官の命令若くは處分

に違反し又は第三條に基きて地方長官の定めたる速度を超過して自動車を

運転したるものは拘留又は科料に處す。

地方長官の定めたる期日に自動車の検査を受くることを怠りたる者亦同じ

(内務省自動車取締令第三十條)

六 運転間事故發生せる際の處置法

最も容易に自動車運転手になる法



自動車に依り人を傷害し又は物件を損壊したる時は運転手は直ちに其運転を停止すべし。

前項の場合に於いて運転手及其他の従業員は被害者の救護其他に付必要なる應急の措置をなすべし但し警察官吏ある時は其の指示に従ふべし。

運転手其他の従業員は前項の措置を了し且各本人、雇主、自動車使用者の氏名住所（法人にありては其名稱、事務所所在地）及車輛番號を警察官吏に申告し警察官吏在らざる時は被害者若しくは其同伴者に同一事項を通告するに非れば自動車の運転を繼續することを得ず。

前項後段の規定に従ひ自動車の運転をなしたる時は運転手其他の従業員は遅滞なく前各項の事實を警察官吏に申告すべし。

乗用者は運転手其他の従業員が前四項の措置を爲すに付之れを妨ぐることを得ず

（内務省自動車取  
締令第二十五條）

要するに總べて事故に對しては加害者たる運転手は誠意を披瀝して圓滿なる措置をすればよいのである。逃走等絶對にあつてはならぬ（私見）

七 就業中運転手の遵守すべき事項（内務省取締令第三十七條）

運転手（車掌）は就業中左の事項を遵守すべし。

- 1 免許證を有せざる者に自己の職務を委託すべからざること。
- 2 服装の定めある者は其の制服を着用すべきこと。
- 3 警察官吏の求めありたるときは免許證を提示すべきこと（大正八年十一月十五日改正）
- 4 酒氣を帯び又は喫煙すべからざること。
- 5 警察官吏に於いて舉手其他の方法を以つて停車を命じたる時は直に停車

最も容易に自動車運転手になる法



すべきこと。

- 6 夜間は制規の灯火を点じ規定の光力を保持せしむべきこと但し空車の場合又は幌車にして幌の全部若しくは側面を開放したる場合は車室用灯火を点ぜざることを得(大正八年十一月十日改正但書追加)

- 7 老幼婦女乗降の時は特に保護すべきこと。

- 8 公衆に對し乗車を勧誘し又は定額以外の賃金を請求すべからざること。

- 9 正當の理由なくして發車を拒むべからず。

- 10 定員外又は客席以外に乗車せしむべからざること、但し十歳未満の者は二人を以つて一人と看做し十歳未満の者は定員に算入せず(大正八年十一月十日改正但書追加)

- 11 乗客の昇降を終りたる後に非れば發車すべからず。

- 12 乗客の求めありたる時は賃金表を提示すべきこと。

運転手は前項各號の外就業中左の事項を遵守すべし。

- 1 車輛の構造装置に付危害を防止する必要な注意をなすべき事。
- 2 一定の線又は區域に據るものありては免許以外の區域を通行す可らざること。

- 3 消防機械進行の際は停車若しくは避讓して其進路を開くべきこと。

- 4 出火場其他群衆の場所を通行すべからざること。

- 5 安全地帯内を通行す可らざること。

- 6 本令第四條但書に依り承認を得たる道路、交通頻繁の場所、街角、橋上、坂路、又は公園内を通行し若しくは道路を横斷する時は絶えず音響器を鳴らし除行すべきこと。

小學校の附近に於いて兒童の多數登校又は退校するを認めたる時は特に除行最も容易に自動車運転手になる法



すべきこと。

7 街角右折は大廻り左折は小廻りを爲すべきこと。

8 番人の配置なき鐵道又は専用軌道の踏切を通過せんとする時は危険なきこと

とを確認したる上通行すべきこと

9 他車と並行し又は競走すべからざること。

10 自動車二輛以上連続行進する時は前者に對し十間以上の距離を保つべきこと。

と。

11 前車を追越さんとする時は音響を鳴らし其右側を通行すべきこと。

前號の場合に於て電車に對しては其左側を通行すべきこと但し軌道の位置に

依り通行不能の場所にありては此限にあらす(大正八年十一月十五日追加)

停留場に停止せる電車に接近したる時は音響器を鳴らし除行し且其乗客の

乗降に危険なき様避讓し又は停車すべきこと(大正九年六月十日改正追加)

12 馬匹に近づく時は速度を緩め恐怖せしめざる様注意すべきこと。

13 交通の妨害となる場所に停車すべからざること。

14 運轉手臺を離るべからざること但し已むを得ず其位置を離る時は危険防止に付必要なる注意をなすべきこと。

15 積載定量を超過し又は車體の外側に著しく突出し若は地上より高さ十尺

を超へて荷物を搭載したる車輛を運轉すべからざること但し特に警察官署の

許可を得たる場合は此限に在らず此場合に於いては車上見易箇所其旨表示すべし。



自動車の黄金時代からとす				
中原辰二著	自動車知識	定價金三十一圓 送料金二十一圓	秋之榮之助著 改訂 現行 自動車取締令及施行細則	内務省・埼玉縣・東京府・千葉縣・神奈川縣・群馬縣
同	甲乙種試験合格秘訣 自動車運轉手試験問答集	定價金七十錢 送料金十二錢	築瀨幸三郎著	自動車營業法
	最も容易に運轉手になれる法	定價金一圓八十錢 送料金十六錢		自動車ハンドブック
		定價金一圓八十錢 送料金十六錢		

發行所 東京 神田區 錦町一丁目 誠文堂  
振替 東京 二六九四番

### 第五章 運轉手試験問題集 (三百二十四題)

本問題集は過去數年間に於いて警視廳及各縣下にて行はれたる運轉手試験問題を網羅せるものなり。

#### 第一集 機關 (七十八問題 (自一―至七十八))

- 一 四衝程機關と二衝程機關の差違せる所を詳しく説明せよ。
- 二 四衝程機關と二衝程機關と同じ廻轉にて同徑口なる時は何れが馬力大なるか
- 三 四氣筒機關の爆發順序及其の發見法。
- 四 四氣筒機關に於て第一氣筒が吸入にある時他の氣筒は何にあるか着火順に依りて記せ。
- 五 爆發順序一二四三なる機關の第二氣筒が排氣衝程の時第四氣筒は如何なる衝



程にあるべきか。

六 四衝程發動機に於て「ピストン」の一衝程間に「クランク、シャフト」及カム、シャフトは何回転するか。

七 混合氣を壓縮せざる時は何故動力を減少するや。

八 四衝程氣筒一千回転するに何回爆發するか。六氣筒及八氣筒に付記せ。

九 四衝程四氣筒機開が失火することなく一千四轉せりとせば其間の爆發度數如何。

一〇 炭煤の推積するの結果如何。

一一 氣筒内に炭煤の推積する原因を問ふ。

一二 シリンダー内にカーボンのたまたらざる様注意如何。

一三 カム軸の回転をクランク軸の二分の一にしてある理由。

一四 クランク、ギヤーとカム、ギヤーとの嚙數の比を問ふ。

一五 エンジンの動力減退せる時は如何なる所を検するや。

一六 クランク、シャフトの位置と吸入、壓縮、爆發、排氣との關係を圖にて示せ。

一七 クランク、シャフトの二回転する時吸氣、排氣ヴァルヴは何回開閉するや。

一八 曲軸と歪軸との回転關係及其理由を説明せよ。

一九 排氣弁の開閉につき知る事を述べよ。

二〇 吸入弁の開閉は何によりてされるか。

二一 四氣筒と六氣筒の構造且作用上異なる點を詳記せよ。

二二 必差式機關曲柄の利害の點を記せ。

二三 連桿「コネクティングロッド」の作用を述べよ。

二四 弁の作用及其構造を圖解し重なる部分に名稱を附せ。

二五 「ピストンリング」の機能を説明せよ。

二六 何故に混合氣を壓縮するや。



- 二七 何故に混合氣の壓縮が充分でないと動力が弱いか。
- 二八 ガソリン自動車の動力の弱くなるはどんな場合に多きか。
- 二九 四衝程機關に於て吸氣弁が第二衝程に閉づるは何故か。
- 三〇 最も有効なる動力を出さしめんには「ピストン」又は「クランク」の如何なる位置に於て點火せしむるを適當とするや理由を附し説明せよ。
- 三一 壓縮不充分に依り起る現象を記せ。
- 三二 壓縮不完全なる原因及其の理由。
- 三三 弁桿の歪みたる時の結果如何。
- 三四 氣筒内に堆積せる炭煤を取除く法を述べよ。
- 三五 失火「ミスファイヤ」したる氣筒の發見法を述べよ。
- 三六 「スキッチ」を切りても尙エンジンの回轉繼續するは何故なるか。
- 三七 發動機の爆發の検査をなす方法に付て知る處を記せ。

- 三八 エンジン、レイス（カラマワリ）急速空回轉は如何なる害ありや。
- 三九 エンジンのノックする原因となるべき事項如何。
- 四〇 自動車に震動の生ずる原因を記せ。
- 四一 クランクケースより煙の出ずるは如何なる場合か。
- 四二 發動機の動力と點火時刻との關係を述べよ。
- 四三 左の装置は何を加減するか。
- 一、スロットル、レバー
- 二、ニードル、ヴァルヴ
- 三、エイヤ、ヴァルヴ
- 四四 四衝程機關の各衝程の作用を説明せよ。
- 四五 冬期エンジンの容易に始動せざるは何故なるか。
- 四六 冬期寒冷な爲め機關の始動困難なるときの始動方法如何。



- 四七 タベットとヴァルヴステームとの間隙は何故設けたるか、但し其の適當なる間隙を吸氣弁、排氣弁に付き記せ。
- 四八 エンヂン、ノックを起し易き場合を問ふ。
- 四九 シリンダー内の壓縮不充分なときは其の原因が如何なる場合にあるか。
- 五〇 夏期エンヂンの過熱に對し操縦上注意すべき事項如何。
- 五一 機關の過熱は主にどんな缺陷から起り易きか。
- 五二 エンヂンのオーバーヒートが點火装置の缺陷にありとせば如何なる故障に依るか。
- 五三 ピストン、リングが摩滅した場合又は彈力を失ひたる場合はどんな障害あるや。
- 五四 四氣筒機關が一分間に一千廻轉しつゝありと云ふ其のときの爆發度數如何。
- 五五 四氣筒機關のシリンダーの内一本がミスファイヤー(失火)しつゝ一分間に

壹千回轉したりとせば幾回爆發するや。又六氣筒の場合、八氣筒の場合に付き知る所を記せ。

- 五六 左のものは何んの爲めにあるものか。
- イ、コンプレッション、コック
- ロ、ピストン、リング
- ハ、エキゾースト、カットアウト
- 五七 左の術語を説明せよ。
- イ、死點(デット、ポイント)
- ロ、衝程(ストローク)
- ハ、軸受(ベリヤング)
- 五八 混合氣の壓縮は普通何封度位が適當なるか。
- 五九 コンプレッション、コックの目的を説明せよ。



六〇 左の作用に付き知る所を記せ。

イ、自動空気ヴァルヴ

ロ、瓦斯倫バルブ

ハ、エヤーヒーター

六一 カムの種類を挙げ且つ其の形を圖示せよ。

六二 クランク、ケースのオイル入換方法如何。

六三 排氣の状況により如何なる事を識るを得るか。

六四 ヴアルヴの開閉時期を簡單に圖示す可し。

六五 ヴアルヴの種類を挙げ且つ其の利害を記せ。

六六 プラグに點火し居り氣化器にも異狀なく尙ミスファイヤーの現れざる時エンヂンの効力弱き時は何れの故障なるか。

六七 扇風は何んの爲に設けたるものか之れに起り易き故障を問ふ。

六八 機關過度に熱したる時急激に冷却する時は如何なる害ありや。

六九 各自の自動車に付き機關冷却装置を説明せよ。

七〇 各自の自動車に付き備ふべき工具の名稱を列舉せよ。

七一 左のものゝ働きを説明せよ。

イ、自動空氣弁 (オートマチック、エヤー、ヴァルヴ)

ロ、自動電路切斷器 (オートマチック、リレー)

七二 十哩は約幾キロメートルか。

七三 左記自動車機關二つを選び氣筒の直徑行程の寸法並に製作圖名を記せ

イ、シボレー號

ロ、ヴァイツク號

ハ、シトロエン



ニ、ウズレノ號

七四 排氣弁は何故に爆發行程完了前に開くや説明せよ。

七五 反對爆發の原因を別舉せよ。

七六 左記各號は自動車の如何なる部分にあるや簡単に説明せよ。

イ、コンプレッション、リリーフ、コック

ロ、ヨーク

ハ、タイバー

七七 左記各號に付き簡単に述べよ。

イ、「エキゾースト、カム」と「インレット、カム」との見解方

ロ、「ユニバーサルジョイント」

七八 左記各號につき述べよ

イ、貨物自動車名六つを舉げよ

ロ、降坂の途中に於て停車及び發車の方法如何。

## 第二集

燃料及燃料輸送装置 フエエルエンド、フエエル、システム 十五問題（自七九一至九三）

七九 爆發と燃燒の差を問ふ。

八〇 自動車の燃料として如何なるものを使用するや。

八一 ガソリンの取扱上注意事項を問ふ。

八二 ガソリンの著しき性質五つを舉げよ。

八三 ガソリン槽より氣化器に送る装置に如何なる種類ありや。

八四 ガソリンをタンクに入るゝ際の注意事項如何。

八五 燃料供給法の種類及効用の長短を記せ。

八六 真空槽は如何なる働をなすものか。



- 八七 真空槽の圖解と作用を説明せよ。
- 八八 ガソリン、タンクの構造は供給法の異なるに依り相違の必要ありや、若し相違の必要ありとすれば何故なりや。
- 八九 ガソリン機關の普通使用せられる燃料供給法の種類を擧げよ。
- 九〇 バキュームタンクの瓦斯倫を吸込れつゝある時の各弁の作用を述べよ。
- 九一 瓦斯倫タンクのキャップに小孔あるもの又はなきもの如何なる理由か。
- 九二 機關の故障が揮發油の供給不良に因する時は如何なる順序にて検査すれば宜きや。
- 九三 ガソリンの良否を見分ける法及びガソリンの不純物を除去する方法如何。

### 第三集 氣カビユ化イ

器キ 三十三問題(自九四一至百二六)

- 九四 氣化装置の目的又は必要なる理由を述べよ。
- 九五 空氣と瓦斯倫との混合割合如何。
- 九六 リッチ及プアーとは何を云ふや。
- 九七 混合氣を加減する方法を記せ。
- 九八 混合氣量を加減する装置に於てフォードとビュックの差を述べよ。
- 九九 「ミックスチュアー」混合割合を調整する必要あるは如何なる場合か。
- 一〇〇 カービュレレーターに爆音の發する原因如何。
- 一〇一 揮發器にて爆音を發することあり其理由を説明せよ。
- 一〇二 混合氣が不完全燃焼となるは如何なる欠陥により起り易きか。
- 一〇三 混合氣の割合が薄過ぎたる場合は如何なる障害を生ずるや。
- 一〇四 任意の揮發器を圖解し其の作用を述べよ。
- 一〇五 混合氣濃厚に過ぎたる時如何なる障害を起りや。
- 一〇六 混合氣の濃厚に過ぎたる爲め失火する事あるは何故か。



一〇七 左の場合点火時期及びガソリンの量の調整法を説明せよ。

イ、始動せしむる時。

ロ、平坦なる道路を高速にて走る時。

ハ、急坂を昇る時。

ニ、車體の停止中エンヂンを回轉せしむる時。

一〇八 混合氣に水分の混ざるを防ぐには如何になすか。

一〇九 混合氣に水分の混じたる時の處置如何。

一一〇 混合氣の自動的調整は何所にしてなすや。

一一一 混合氣の濃度を自動的に調節する装置を擧げよ。

一二二 濃厚なる排氣を防ぐにはどんな注意をしなければならぬか。

一二三 排氣多量にして濃厚なる場合の理由如何。

一二四 混合瓦斯の濃厚過ぎたる時如何にして調節するか。

一一五 混合氣の發生する理由と發せしむる装置の種類を述べよ。

一一六 揮發器に一般に使用せらるゝスロットルヴァルヴの形狀と其の作用を記せ。

一一七 氣化器に何故ホット、エーヤを使用するや。

一一八 混合瓦斯の割合を排氣の色にて見分ける法を記せよ。

一一九 噴霧式氣化器の構造に付て任意のものを説明せよ。

一二〇 氣化器の凍りたる時は如何にするや。

一二一 機關失火の原因が氣化器にありとすれば如何なる點に注意するや。

一二二 運轉停止前に電路開閉器を切斷する前に瓦斯を一時多量に吸入せしめるは何のためか。

一二三 シリンダ内にて混合氣が最も有効なる爆發をする爲めに必要なる條件如何

一二四 機關始動困難なるときプライミングする理由。

一二五 瓦斯倫と空氣との混合割合不良なる時如何なる結果を生ずるや。



一二六 化器氣に瓦斯の逆行することあり如何なる故障あるや説明せよ。

### 第四集

引入多岐管サクシヨンマニホルド及カット、アウト  
並に静音機マフラー 八問題（自百二十七至百三十四）

一二七 吸入多岐管の目的を記せ。

一二八 消音器に爆音を發する原因を述べよ。

一二九 排氣管より白煙を發する事あり如何なる原因なりや。

一三〇 マフラーとは如何なるものなりや。

一三一 マフラーの構造及之れがエンジンに及ぼす影響を詳述せよ。

一三二 排氣カッタウト弁は如何なる時使用するや。

一三三 登坂に際してカット、アウトするは如何なる理由か。

一三四 マフラーを取付ざりし場合に付其結果を述べよ。

### 第五集 潤滑装置ルン スリユ ケイ シヨウ 十四問題（自百三十五至百四十八）

一三五 潤滑油の種類に如何なるものありや。

一三六 自動車注油法の種類を問ふ。

一三七 グリースを供給すべき箇所を列舉せよ。

一三八 機關給油の不足せる結果如何。

一三九 各自自動車につき機關注油量の適否を識る方法を問ふ。

一四〇 クランク、ケースに油の多すぎたる場合は如何なる故障を生ずるや。

一四一 自動車の減摩油として胡摩油又は植物性又はヘットの如き動物性の油をなぜ使用せざるか。

一四二 高速度回轉軸には如何なる滑油を使用するか。



- 一四三 夏期及冬期に於ける減摩油使用上の注意事項を記せ。
- 一四四 滑油供給法に於ける一般的故障を述べよ。
- 一四五 注油の多過ぎたる時は如何なる排氣の色を出すか。
- 一四六 エンヂンの給油装置に缺陷を生じオイルの供給不十分の時はどんな結果になるか。
- 一四七 グリース及モビールは如何なる個所に用ゐる油なりや。
- 一四八 左記の箇所の給油の必要程度を問ふ。  
 イ、乾燥したる多盤式クラッチ。  
 ロ、ウエット多盤式クラッチ。  
 ハ、ブレイキバンド。  
 ニ、コンミューテーターのブラシユ。  
 ホ、配電器のローラー(アーム)

へ、コンタクトブリーカー。

第六集 冷却装置 十三問題(自百四十九―至百六十一)

- 一四九 自動車の冷却装置に就て説明せよ。
- 一五〇 ガソリン機關に冷却装置の必要なる理由如何。
- 一五一 ラヂイターの故障を述べよ。
- 一五二 ラヂイターの水は如何なる水を入れるか。
- 一五三 ラヂイターのカバーは如何なる爲めか。
- 一四五 冬期ラヂイターにアルコール又はグリセリンを混合することあるは何んの爲めか。
- 一五五 水冷式に於て最も起り易き故障を述べよ。
- 一五六 冷却装置に付きて知る處を述べ主なる故障を記せ。



- 一五七 ラヂエーターに入る、水質によりラヂエーター及シリンダーに如何なる影響を與ふるか。
- 一五八 サイモスタットとは如何なる効用をなすものか。
- 一五八 冷却水の温度は機關の効率に如何なる影響を及ぼすか。
- 一六〇 冷却水に付き冬期注意すべき事項如何。
- 一六一 冷却装置の種類を述べよ。

第七集

トランスミッション 動力傳送装置 九問題(自百六十二至百七〇)

- 一六二 ユニヴァーサルジョイントを圖解し且つ其の作用効用を記せ。
- 一六三 クラッチの種類と構造の差異を述べよ。
- 一六四 多盤式クラッチ及コンクラッチのスリップする原因。
- 一五六 撰擇式變速機を圖解説明せよ。

- 一六六 撰擇式變速機の低速に嚙合せる状態を圖解せよ。
- 一六七 變速機の種類及其作用を述べよ。
- 一六八 差動嚙合の作用を説明せよ。
- 一六九 差動装置は何故必要なるか。
- 一七〇 自動車の車輪の一侧が砂利の處を通過する場合は差動機に如何なる現象を早するか。

第八集

ホイール 車輪、アクシル 車軸、ブレーキ 制動機 七問題(自百七十一至百七十七)

- 一七一 タイヤに付き如何なる注意をなすか。
- 一七二 パンクの際の修理法。
- 一七三 左に揚ぐるものはタイヤにどんな影響を與へるか又取扱上の注意如何、イ、日光、ロ、油類、ハ、水



- 一七四 如何なる事がタイヤを損するや。
- 一七五 全浮動車軸と半浮動車軸の差違を述べよ。
- 一七六 變向機取扱上の注意すべき事項を述べよ。
- 一七七 ステアキングホイールより前車輪迄に注意すべき處を記せ。

第九集 制動機 十問題(自百七十八至百八十七)

- 一七八 ブレーキの種類を擧げよ。
- 一七九 制動機の完全に働きをなす必要條件を問ふ。
- 一八〇 制動装置に起り易き故障如何。
- 一八一 片方の制動機の不完全なる時は如何なる故障あるや。
- 一八二 制動機の必要なる所以を記せ。
- 一八三 制動機の平衡装置に付て述べよ。

- 一八四 エンヂン、ブレーキは如何にしてなすや。
- 一八五 エンヂン、ブレーキ操作方と制動作用及之を利用する場合を問ふ。
- 一八六 エンヂンブレーキの制動は何んで生ずるか。
- 一八七 近時自動車に使用する四輪制動機につき述べよ。

第十集 電氣 二十三問題(自百八十八至二百十)

- 一八八 アース及ショートサーキットとは何か。
- 一八九 電導線を連結する場合に於て電流の流通を良好ならしむ可き事項を記せ。
- 一九〇 電氣は如何なる時漏電し易きか。
- 一九一 電路の一方をアースする利益を問ふ。
- 一九二 電池を並列と直列に結びたる時はどんな違があるや。



- 一九三 コードの接続又は取付の場合どんな注意を要するか。
- 一九四 自動車の電気装置取扱上注意すべき事項。
- 一九五 ヘッドライトの取扱上注意すべき事項。
- 一九六 自動車の電気装置に於て如何なる時にショートするか。
- 一九七 蓄電池は如何なるもので造られて居るか。
- 一九八 蓄電池取扱上に就て注意すべき事項を挙げよ。
- 一九九 電池の十極一極を見分ける法。
- 二〇〇 電池に充電されて居りスキッチを入れてありながら燈火の尙ほ薄暗き時は如何なる故障ありや。
- 二〇一 同じ電池に付き兩極よりコードを其まゝ接続せしむると、モーターを回轉せしめて放電せしむるとは何れが早く蓄電を失ふか答は早し、遅しの理由を簡単に記せ。

- 二〇二 蓄電池のターミナルの酸化を防ぐには如何にするか。
- 二〇三 電池の蓄電の有無を知る法如何。
- 二〇四 左記に揚ぐるものは如何なる作用をなすべきか。
  - イ、配電盤の作用を説明せよ。
  - ロ、インダクション、コイルの作用を記せ。
  - ハ、タイマーの作用を問ふ。
- 二〇五 マグネトにて電池に充電出来るか。
- 二〇六 グイナモにては電池に充電出来るか。
- 二〇七 蓄電池と蓄電器の差異を説明せよ。
- 二〇八 左の術語を説明せよ。
  - イ、一次線 プライマリーコイル
  - ロ、二次線 セカンダリーコイル



ハ、直流ダイレクトカレント 交流アルターネーティングカレント

二〇九 電気装置にオートマチックあるは何故か。

二一〇 左の事項に付き知る所を記せ。

イ、オートマチック、リレー。

ロ、コイルのヴィブレーター。

ハ、オイルゲージ。

ニ、サーモスタット。

第十一集 点火装置イグニション 二十五問題(自二百十一至二百二十五)

二一一 現今普通自動車に使用せらるゝ点火装置の種類を記せ。

二一二 蓄電池、誘導線輪、タイマー、火花栓を圖解して電線を連絡せよ。

二一三 点火時期遅れ過ぎる原因のある理由を述べよ。

二一四 点火時期の調制方如何。

二一五 コンデンサーの構造を説明し、且つ其目的を述べよ。

二一六 コイルのバイブレーター又はタイマーのコンダクトブリカーにコンデンサーを連結する理由如何。

二一七 コンタクトブリカーのコンダクトポイントに就いて。

イ、間隙が廣きに過ぎたる時及狭きに過ぎたる時は如何なる結果となるや。  
ロ、どの位の開を適當とするか。

二一八 点火時期の不適當は何故支障を來すか。

二一九 点火時期を進め過ぎたる爲めノックを感じる事あるは如何。

二二〇 オーバヒートの原因がマグネトにありとせば如何なる故障か。

二二一 点火時期は如何に調整すべきか。

二二二 フォードの点火装置を説明せよ。但簡單に圖解すべし。



- 二二三 インダクションコイルの作用を説明せよ。
- 二二四 點火の進め又は後れの意義如何。
- 二二五 逆火の原因と結果及其の修理法を説明せよ。
- 二二六 點火時刻が發動機の回轉速度に及ぼす影響を述べよ。
- 二二七 磁石發電機點火法に於て電源より點火栓迄の重なる名稱を記せ。
- 二二八 磁石の衰弱したる場合は如何なる影響を及ぼすか。
- 二二九 自動車に於ける電流の熱作用とは何ぞや。
- 二三〇 配電器の配線の何れか一本を取外して機關は始動し得るや。
- 二三一 修繕のためにマグネットを取り外さんとし取り外しの前豫め調べ置くべき事項。
- 二三二 配電器に起り易き故障及其の應急修理法を問ふ。
- 二三三 左記に付簡單に記せ。

イ、配電盤の用途。

ロ、點火装置の種類。

ハ、機關のノックする原因。

ニ、アムペヤイメーターに就て。

- 二三四 配電器が悪くて失火せりとすれば如何なる故障に因るか。
- 二三五 調時器と配電器との相違せる點を列舉せよ。

第十二集 點<sup>スパーク</sup>火<sup>プラグ</sup>栓 十一問題(自二百三十六至二百四十六)

- 二三六 點火栓に於ける故障五ツを舉げよ。
- 二三七 電源より點火栓に至る回路を記せ。
- 二三八 スパークプラグのギャップを記せ。
- 二三九 點火栓の發火を試験する方法如何。



- 二四〇 點火栓の適當なる間隙如何。
  - 二四一 點火栓を締付けたる部分より油の吹き出る理由を述べよ。
  - 二四二 點火栓の間隙が、高壓電磁石を用ふる場合と蓄電池を用ふる場合とに付き其の適當なる割合を吋にて示せ。
  - 二四三 スパイクプラグに電流が通じて居るや否やを検する法を述べよ。
  - 二四四 プラグのターミナルがゆるむと如何なる故障が起るか。
  - 二四五 高壓電氣點火栓の種類を挙げ各種の組織中に含まるゝ装置の名稱を列舉せよ
  - 二四六 シリンダーの失火が點火栓にありとすれば如何なる故障にあるか。
- 第十三集 スタートエンドスタートチンクシステム 始動及始動装置 十一問題 (自二百四十七至二百五十五)
- 二四七 エンヂンの始動に檢すべき事項如何。
  - 二四八 冬期エンヂンを最も容易に始動せしむる方法如何。

- 二四九 寒期に於て機關を簡單に始動する法。
- 二五〇 自動車をスタートする際注意すべき事項如何。
- 二五一 機關始動前の準備を問ふ。
- 二五二 スタートチンク、ハンドル及セルフスターターを使用せずエンヂンをスタートする法。
- 二五三 セルフスターターの操作及操作法方の注意事項。
- 二五四 始めての自動車を使用せんとする際はどんな注意が必要か。
- 二五五 始動装置の必要なる所以を記せ。
- 二五六 冬期始動困難の原因を述べよ。
- 二五七 自己始動装置の種類と飛輪との關係を述べよ。

第十四集 操縦法其他一般 十四問題 (自二百五十八至二百七十一)



二五八 下坂に於て制動機の故障ありたる場合どんな操作をなすが、但チエンジ車の場合。

二五九 降雨又は泥濘の場合操從に如何なる注意をなす可きか。

二六〇 サイドスリップはどんな場合に起り易きか。

二六一 自動車使用前に注意すべき事項。

二六二 坂路中に於て停車の要領及其注意すべき事項如何。

二六三 長く低速度にて走行するは何故害ありや。

二六四 急坂を下るとき操縱に注意す可き事項を擧げよ。

二六五 自動車の速度の變更は必ず變速機に依るものか。

二六六 自動車より火災を起す原因となる事項如何。

二六七 自動車自身が火災を起すは多く如何なる事が原因となるか。

二六八 ハイギアにて坂を昇らんとしたる時ノックせり故に點火時期を早め、ス

ロットル開きたる時にエンジンがストップせりと云ふ何故なるか。

二六九 ブレーキの効力不充分の時急坂を下る最良法如何。

二七〇 修理用にもなく豫備品にもなくして具備す可き道具は何か。

二七一 左記のものは如何なる用途に供するものなりや。

イ、ラバー、セメント。

ロ、テープ（絶縁帶）

ハ、サンドペーパー。

ニ、キャンバス。

ホ、ガasket。

## 第十五集 法

規 五十四問題（自二百七十二―至三百二十四）

二七二 轉轉手の就業中遵守すべき事項五つを擧げよ。



- 二七三 道路の幅員と速度の關係を記せ。
- 二七四 安全地帯のある電車の側方を通過せんとする場合守るべき事項を記せ。
- 二七五 試運転せんとする場合の手續如何。
- 二七六 道路中駐車すべからざる場所及び警戒すべき場所四ヶ所を擧げよ。
- 二七七 自動車の通行し得べき道路の幅員は規定上如何に制限せられ居るや。
- 二七八 制限未滿の道路を通行する時。
- 二七九 運轉手の住所を變更したる場合の手續を述べよ。
- 二八〇 自動車幅員三間以下の道路を警察官吏の承諾を得ずして通行し得るものあるや。
- 二八一 普通自動車にして通過し得ざる道路の幅員を問ふ、但し市部何間未滿、郡部何間未滿とすれば可なり。
- 二八二 規定上自動車が通行し得べき路幅を問ふ。

- 二八三 特定免許證と特種免許證との區別を擧げよ。
- 二八四 左の幅員を有する道路に於ける自動車の法規上の速度制限如何。
  - イ、六間
  - ロ、四間
  - ハ、三間
- 二八五 道路取締令に依る自動車の重量高さ及び積載定量は如何に制限せらるや。
- 二八六 制限外道路を通行する場合法規上如何にして通行するや。
- 二八七 車庫内に於て危険防止上運轉手の心得置くべき事項を記せ。
- 二八八 自動車の速力は規定上如何に制限せられあるや。
- 二八九 積載量一噸を越ゆる貨車を操縦し人家連擔の場所を通行の際に於ける道路幅員及び時間に関する制限。
- 二九〇 自動車の構造上心得置くべき事項を記せ。



- 二九一 左記の場合に付知る所を述べ。
- イ、前車を追越さんとする場合。
- ロ、停留車場を通過する時。
- ハ、一時道路に車を留め置く時。
- ニ、カーブ通過の時。
- 二九二 進行中警戒すべき場所五つを挙げよ。
- 二九三 通行中駐車すべからざる場所四つを記せ。
- 二九四 運轉手免許證及び就業停止せらるゝ場合如何。
- 二九五 乗合自動車の乗車に對し遵守すべき事項を記せ。
- 二九六 道路上停車すべからざる場所四つ及び徐行す可き場所五つを記せ。
- 二九七 燈火光力の規定する所を記せ。
- 二九八 左記の場合如何にすべきか。

- イ、牛馬に接近したる時。
- ロ、神輿葬儀に出會ひたる場合。
- ハ、電車停車場附近に接近したる時。
- ニ、自動車並行の時。
- 二九九 左の場合に注意せべき事項を問ふ。
- イ、道路交叉の場所を右折せんとする時。
- ロ、傷病人運搬車又は神輿に出會したる場合。
- ハ、途中神輿葬列等に出會したる時。
- ニ、道路に自動車を駐める場合。
- 三〇〇 如何なる車輛を自動車と云ふか。
- 三〇一 左の場合に注意すべき事項を問ふ。
- イ、電車停留場附近を通行する時。



- ロ、前車停留附近を通行する時。
- ハ、自動車二輛以上連続行進する時。
- ニ、牛馬に接近する場合。
- 三〇二 左の事項に就いて述べよ。
  - イ、前車を追越す場合。
  - ロ、自動車二輛以上連続行進する時前車との距離。
  - ハ、停留場に停車せる電車を追越さんとする時は如何にすべきか。
  - ニ、雨雪泥濘の際進行する場合如何なる注意を要するや。
- 三〇三 免許證を返納すべき場合。
- 三〇四 速度計及哩メーターは何んの爲めに附けるか。
- 三〇五 十六哩、十二哩、八哩をキロメートルに直せ。
- 三〇六 自動車を操縦通行するに際し道路取締令に依り音響器を鳴らし徐行すべき場

所を列記せよ。

- 三〇七 瓦斯倫取締上火災を防ぐべき注意事項を記せ。
- 三〇八 左の場合の處置を記せ。
  - イ、十字路を右折せんとする時には如何にして通行すべきか。
  - ロ、通路横斷、制限未滿の道路通行。
  - ハ、交叉點、隧道等を通行する時。
  - ニ、街角及道路交叉點を右折する場合。
  - ホ、電車側を通行する時。
- 三〇九 自動車に依り人を傷害したる時の處置を問ふ。
- 三一〇 トラックの速力制限を記せ。
- 三一一 トラックの積載重量制限を述べ。
- 三一二 左の場合如何なる手續を要するや。



- イ、運轉手を雇入又は解雇したる場合の手續を記せ。
- ロ、運轉手住所を變更したる時。
- ハ、運轉手を雇入れたる時。
- ニ、自動車を試運轉せんとする時。
- ホ、就業地を變更したる時。
- 三二三 一定の路線又は區間に依る自動車の乗客に對し如何なる事を守らせるか。
- 三二四 制限未滿の道路を通行する時の注意。
- 三二五 自動車運轉手の免許證取消又は就業停止を受くべき場合を擧げよ。
- 三二六 左に就きて述べよ。
  - イ、運轉手其本籍氏名を變更したる時の手續を述べよ。
  - ロ、運轉手死亡又は行衛不明となりたる時。
- 三二七 操縦中危険注意すべき場所四つを擧げよ。

三二八 左に就きて述べよ。

- イ、免許證を返納すべき場合を問ふ。
  - ロ、自動車の後面燈火の制限を問ふ。
  - ハ、自動車々庫内に於ける給油及び車體の掃除に於ける制限規定を問ふ。
- 三二九 自動車の車體の制限に關して左の各項に付きて記せ。

- イ、全長
  - ロ、全幅
  - ハ、高さ
  - ニ、營業用車客席一人當りの幅員。
- 三二〇 運轉手臺を離るゝ場合の所置如何。
- 三二一 左の場所を通行する場合は如何になすべきか。
- イ、自動車の避讓すべき場合を擧げよ。



ロ、自動車の通行し得ざる場合を挙げよ。

ハ、警報器を用ひて徐行すべき場所を記せ。

ニ、夜間、晝間等時刻に依り速度の制限ありや。

三三二 免許證面記載事項に変更を生したる場合如何にすべきか。

以下は埼玉縣に於ける試験問題

三三三 左の各號に就き知る處を記せ。

イ、運轉手就業中止むを得ざる事の外運轉臺を離れんとする時。

ロ、試運轉若しくは運搬等の爲め一時自動車を御用せんとする時。

ハ、貨物自動車積載量の積荷の制限。

ニ、乗合自動車に設備すべき事項。

ホ、故障自動車數臺を連繫して行進せんとする時。

三三四 左の條文の意義を説明せよ。

イ、第五條

道路の交叉點四角隧道橋梁等に於て牛馬諸車は彷徨すべからず（埼玉縣令道路取締規則）

ロ、第二十條

名義の如何に拘らず定額以外の賃錢を請求し又は請求せしむべからず（埼玉縣令自動車取締令施行細則）

ハ、第二十三條

道路に於て物を運搬せんとするときは其の飛散漏出墜落及危險を防ぐに必要なる装置を爲すべし。（内務省令道路取締規則）

備考

本問題集に對する解答は岡博高氏著「運轉手受験問題及答案集」にありませう。（誠文堂發行定價一圓五十錢）



機關本體	Power plant	パワープラント
氣筒塞	Engine	エンジン
活塞	Sylinder	シリンダー
連結桿	Piston	ピストン
曲軸	Connecting. Iod	コネクティングロッド
傳動齒輪	Crank shaft	クランクシャフト
歪輪軸	Timing gear	タイミングギヤ
歪輪	Cam shaft	カムシャフト
曲軸室	Cam	カム
配油裝置	Valve	バルブ
送油唧筒	Crank case	クランクケース
配油管	Lubricatin System	ラブリケーションシステム
	Oil pump	オイルポンプ
	Oiling pipe	オイルリングパイプ

檢油器	Oil gauge	オイルゲージ
調整器	Adjuster	アジャスター
補給管	feed pipe	フイードパイプ
壓力計	Pressure gauge	プレッジュアゲージ
注油器	oil con	オイルカン
檢油活嘴	oil test cock	オイルテストコック
揮發裝置	Carburetion System	カーブレーションシステム
揮發器	carburetor	カーブレーター
濾過器	filter	フィルター
給油管	feed pipe	フイードパイプ
導氣管	Lead pipe	リードパイプ
吸氣管	Suction pipe	サククションパイプ
溫氣管	Hot air pipe	ホットエアパイプ
點火裝置	Ignition System	イグニションシステム
磁鐵發電氣	Magnato	マグネト
發電機	Dynamo	ダイナモ

容易に自動車運轉手になる為



發電電動機	Motor generator	モーターゼネレーター
誘導線輪	Induction Coil	インダクションコイル
接觸遮斷器	Contact Breaker	コンタクト、ブリーカー
配電器	Distributor	ディストリビューター
調時器	Timer	タイマー
蓄電器	Condenser	コンデンサー
點火燈	Spark plug	スパークプラグ
電線	Electric wire	エレクトリック、ワイヤー
電路開閉器	Switck	スイッチ
蓄電池	Buistry	バッテリー
冷却装置	Cooling System	クーリング、システム
送水唧筒	water feed pump	ウォーター、フイード、ポンプ
放熱函	Ladiator	ラヂエーター
風扇	fan	ファン
調革	Belt	ベルト
水管	water pipe	ウォーター、パイプ

調溫器	Thermo-stat	サーモ、スタット
溫度計	moto-mater	モーター、メーター
始動装置	Starting device	スターティング、デバイス
始動轉把	Starting handle	スターティング、ハンドル
自動始動器	Self starter	セルフスターター
電動機	Motor	モーター
始動踏敏	starting pedal	スターティング、ペダル
排氣装置	Exhaust System	エキゾースト、システム
排民管	Exhaust pipe	エキゾーストパイプ
助動排氣瓣	Cut out valve	カットアウトバルブ
靜音器	Muffler	マッフル
排出管	Out-let-pipe	アウト、レットパイプ
傳動装置	Transmission system	トランスミッションシステム
聯動機	clutch	クラッチ
節動輪	Fly-wheel	フライホイール
摩擦板	Disc plate	ディスクプレート

最も容易に自動車運転手になる法



容易に自動車を運転手にする為

主軸	Main shaft	メインシャフト
内筒	clutch core	クラッチコア
外筒	clutch casing	クラッチケージ
發條支筒	Spring casing	スプリングケーシング
スリッド筒	Slider	スライダ
變速器	Change speed gear	チェンジ、スビード、ギヤ
主軸	Main shaft	メインシャフト
副軸	Counter shaft	カウンタシャフト
推桿	Push rod	プッシュロッド
變速齒輪室	change gear housng	チェンジギヤハウジング
變速器吊鉞	Hunger	ハンガー
差動機	Differential gear	ディファレンシャル、ギヤ
差動齒輪軸	differential spider	ディファレンシャル、スプайд
差動齒輪	differential pinion	ディファレンシャル、ピニオン
推進軸	Propellershaft	プロペラシャフト
自在關節	Universal joint	ユニバーサルジョイント

14面

横軸装置	Jack Shaft device	ジャックシャフトデバイス
鍵鎖齒輪	Sprocket pinion	スプロケットピニオン
傳動鍵	Driving chain	ドライビングチェーン
車軸	Axle	アクスル
前車軸	Front axle	フロントアクスル
後車軸	Rear axle	リアアクスル
半徑棒	Ladius rod	ラヂアスロッド
車輪	Wheel	ホイール
前車輪	Front wheel	フロントホイール
後車輪	Rear wheel	リアホイール
操縱裝置	Control System	コントロールシステム
操向機	Steering gear	ステアリングギヤ
操向轉把	Steering handle	ステアリングハンドル
操向軸管	Steering Tube	ステアリングチューブ
螺框	Steering gear housing	ステアリングギヤハウジング
誘導槓桿	Lead lever	リードレバー

容易に自動車を運転手にする為



指向桿	drag link	ドラック、リンク
指導桿	Steering arm	ステアリングアーム
傳動桿	Tie rod	タイロッド
變速槓桿	Speed Control device	スピード、コントロール、デレビス
瓦斯調整器	Change speed lever	チェンジ、スピード、レバー
瓦斯轉把	Gas adjusting device	ガスアジャスタングデレビス
瓦斯踐鈞	Throttle lever	スロットルレバー
點火轉把	accelerator	アクセルター
聯動踐鈞	Ignition lever	イグニションレバー
制動機	Clutch pedal	クラッチペダル
手動制動機	Brake	ブレーキ
足動制動機	Hand brake	ハンドブレーキ
制動鼓胴	foot brake	フートブレーキ
制動槓桿	Brake drum	ブレーキ、ドラム
制動踐鈞	Brake lever	ブレーキレバー
	Brake pedal	ブレーキペダル

制動帶	Brake band	ブレーキバンド
車體	Body	ボデー
車體發條	Spring	スプリング
車框	Shassis frame	シヤシーフレーム
荷框	Body frame	ボデーフレーム
車體附屬品	Body accessories	ボデーアツセリース
昇降踏鈞	Step pedal	ステップペダル
泥除	Fender	フェンダー
隔鈞	Dash board	ダッシュボード
機關室蓋	Bonnet	ボンネット
幌	Hood	フツド
前照燈	Head light	ヘッドライト
尾燈	Tail light	テールライト
哩計器	Mile meter	マイルメーター
速度計	speed meter	スピードメーター
警報用喇叭	alarming horn	アラームホーン

最も容易に自動車運転手になる法



最も容易に自動車運転手になる法  
瓦斯發生器

Gas generator

一七八  
ガスゼネレーター

# 附 録



日英佛重量對照表

	日				英				佛			
	斤	貫	匁	噸	斤	オンス	クレイソ	噸	匁	斤	匁	匁
斤	1	.16	160	.....	1.32274	.....	.....	.....	.....	.6	600	600
貫	6.25	1	1,000	,00369077	8.26733	.....	00375	.....	3.75	3,750	3,750	3,750
匁	.....	.....	1	.....	.....	.132.8	.....	.....	.....	.....	.....	3.75
噸	1,693.412	270,946	.....	1	2,240	35,840	5,180,000	1,016	1,016,0475	1	,016,047,54	543.58
オンス	756	1.209	120.956	.000447	1	16	1,000	.....	.4536	4536	28.35	28.35
クレイソ	.....	.....	7.56	.000028	.0625	1	437.5	.....	.0283	.....	.....	.....
佛	.....	.....	.01728	.....	.000143	.00228	1	.....	.....	.....	.....	.....
匁	666.67	266.66	.....	.9842	2204	3,5273	.....	1	1,000	1,000	.....	.....
匁	1.667	.2667	266.67	.000984	2204	25.273	15,432.3	.000	1	1	1,000	1,000
匁	.....	.....	.2967	.....	.0022	.0352	15.432	.....	.001	.001	1	1



日 英 佛 尺 度 對 照 表

	日					英					佛														
	里	町	間	尺	哩	尋	碼	呎	吋	秭	米	耗	里	町	間	尺	哩	尋	碼	呎	吋	秭	米	耗	
里	1	36	2,160	12,960	2,4403	.....	4,294.9	12,884.99	.....	3,927.3	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
町	.....	1	63	330	.....	.....	119.30	357.91	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
間	.....	.....	1	6	.....	.99423	1.988	5.965	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
尺	.....	.....	.....	1	.....	.1657	.331	.9942	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
哩	.40978	14.752	885.12	5,310.8	1	880	1,760	5,280	63,360	1.6090	1,609.8	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
尋	.....	.....	1.0058	6.0348	.001136	1	2	6	7	.0018	1.8287	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
碼	.....	.....	.....	3.01747	.....	.5	1	3	3	.0009	.9144	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
呎	.....	.....	.....	1.0058	.....	,1667	.333	1	12	.....	.3048	304.79	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
吋	.....	.....	.....	.0238	.....	.0139	.0278	.0933	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
秭	.....	.....	.....	3,300	.62138	546.81	1,093.6	3,280.6	39,370.8	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
米	.....	.....	.55	3.3	.00062	.5468	1.093	39.37	39.37	.001	1	1,000	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....
耗	.....	.....	.....	.0033	.....	.....	.....	00.32	.039	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....	.....

日 英 佛 尺 度 對 照 表

	日					英					佛	
	石	斗	升	合	立方碼	立方呎	立方吋	ガロン	リットル	石	斗	
石	1	10	100	1000	.236	6.37	11,007.235	39.681	180.39	.....	.....	
斗	.1	1	10	100	.0236	.637	1,100.7235	3.968	18.039	.....	.....	
升	.01	.1	1	10	.00236	.0637	110.0724	.3968	1.8039	.....	.....	
合	.001	.01	.1	1	.00024	.0037	11.007	.0397	.1804	.....	.....	
立方碼	4.2297	42.2969	422.969	4229.69	1	27	466.56	168	7.63	.....	.....	
立方呎	.156967	1.5697	15.696	156.967	.037	1	17.28	6.233	28.31	.....	.....	
立方吋	.00009	.009	.09	.9	.000021	.000579	1	.0036	.0163	.....	.....	
ガロン	.0252	.252	2.52	25.2	.001923	.16046	277.27	1	4.544	.....	.....	
立	.00554	.5543	5.543	55.43	.0013	.0353	61.02	.22	1	.....	.....	



